

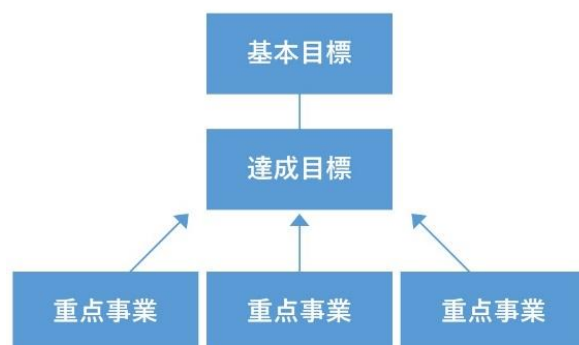
第二次町田市環境マスタープラン等の 2020 年度進捗報告書



本資料では、「第二次町田市環境マスタープラン」で掲示した 5 つの基本目標ごとに、2020 年度までの計画の進捗状況を下記の 2 点を中心にまとめました。

- 1、5 つの基本目標に対する**達成目標**
(基本目標ごとに 3 つの数値目標があります)
- 2、「後期アクションプラン」内で掲示した市が重点的に取り組む事業である**重点事業**

これら 2 つを体系化したものが右図になります。
なお、後期アクションプランの重点事業の項目では、基本目標ごとにその事業がどの達成目標に関連があるかを目安として示しています。



※「後期アクションプラン」は町田市環境マスタープラン推進計画です。

目次

図や表の見方について.....	4
第二次町田市環境マスタープラン 2020 年度進捗報告.....	5
基本目標 1 地域で取り組む地球温暖化の防止.....	5
基本目標 2 自然環境と歴史的文化的環境の保全.....	8
基本目標 3 持続可能な循環型社会の構築.....	10
基本目標 4 良好な生活環境の創造.....	12
基本目標 5 環境に配慮した生活スタイルの定着.....	14
(参考) 市民アンケート結果の一部抜粋.....	16
※2021 年の 3 月～4 月に行った市民アンケートの結果を一部抜粋しています。	
(参考) 第二次町田市環境マスタープラン 2020 年度事業取り組み結果一覧 ...	18
重点事業.....	18
その他の施策.....	30
町田生きもの共生プラン 2020 年度進捗報告.....	59

図や表の見方について

基本目標

2021年度までの達成目標
基本目標ごとに3つの達成目標が設定されています。

基本目標1

地域で取り組む地球温暖化の防止
～低炭素社会を目指すまちづくり～

達成目標の進捗状況

2021年度までの達成目標	達成状況					2021年度 (目標)
	基準年	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
①市民一人あたりの二酸化炭素排出量 (2010年度、3.8t-CO ₂ /人)の10%削減を目指します。	3.8t-CO ₂ /人	3.9t-CO ₂ /人	3.82t-CO ₂ /人	3.68t-CO ₂ /人	集計中	3.42t-CO ₂ /人
②再生可能エネルギーの市内エネルギー消費量に対する割合0.3%(2010年度、0.05%)を目指します。 ※()内は、市内の再生可能エネルギー(FIT)導入率	0.05%	— (1.79%)	— (1.88%)	— (1.97%)	— (2.05%)	0.30%
③マイカーの使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用する市民の割合(2011年度、37.1%)の10ポイント増の47.1%を目指します。	37.1%	29.2%	26.4%	32.2%	30.9%	47.1%

エコ(環境)に関する市民アンケート結果
今年の3月～4月にかけて市内在住の3,000人の方を無作為に抽出して行ったアンケート結果の速報値になります。そのアンケート結果のうち基本目標や達成目標に関連する項目を掲載しています。

市民アンケート結果の紹介 ※2021年3月～4月に行った市民アンケートの速報値

地球温暖化について

Q.あなたは、町田市の気候が以前と比べて変わってきていると感じたことがありますか。



Q.地球温暖化などの環境問題を原因とする異常気象の影響で、あなたが不安に感じることは何ですか。(2つまで)



重点事業

市が重点的に取り組む事業の内容(名称、目標、進捗等)です。市が年度目標に対してどれくらい頑張ったのか(進捗はどうだったのか)を表記しています。

※取り組み結果の○や△などは事業担当課の自己評価になります。

施策の取り組み結果

取り組み結果の表記

◎: 予定以上に進んだ ○: 予定どおりに進んだ

△: あまり予定どおりに進まなかった ×: まったく予定どおりに進まなかった

—: 取り組みなし(目標達成済又は終了した事業)

●重点事業(PO-○参照)

関連達成目標 番号	重点事業名	目標	基準年度 状況(値) (2015年度)	2020年度		年 進 捗 率 目標	目標(値) (2021年度)
				年度目標(値)	実績値		
①	「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援	わたしのエコ宣言参加者の増加	—	1,500人/年	1,129人/年 8,190人(延べ数)	△	10,000人(延べ数)
①	みどりのカーテン等の積極的な導入	公共施設参加数の増加	45施設	200施設(延べ数)	213施設(延べ数)	△	300施設(延べ数)
		市民向け苗の配布数の増加	8,000苗	9,000苗/年	2,000苗/年		10,000苗

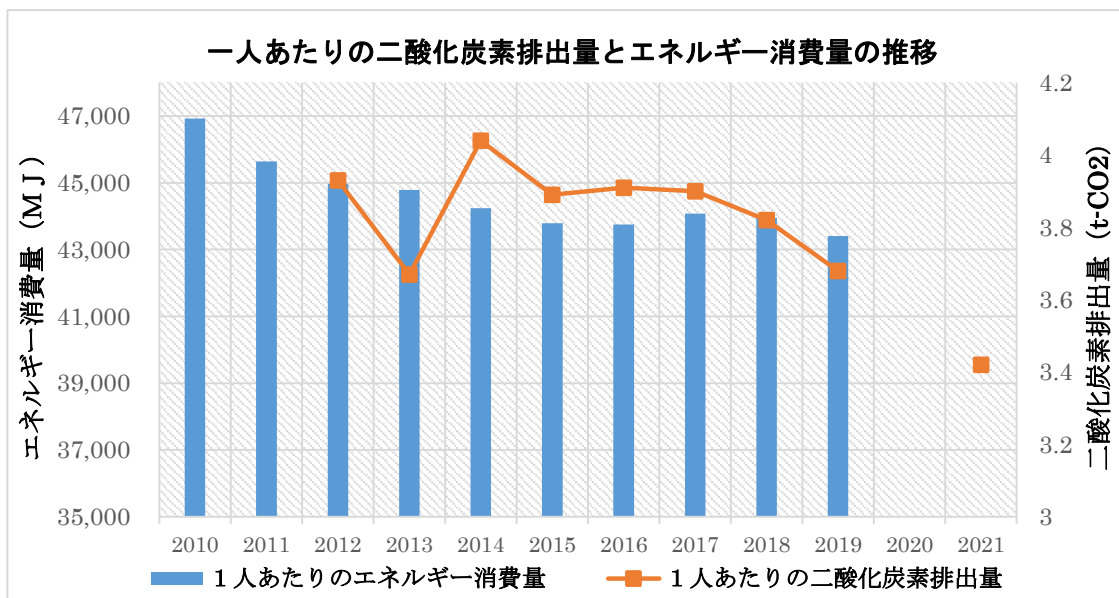
基本目標 1

地域で取り組む地球温暖化の防止 ～低炭素社会を目指すまちづくり～

達成目標の進捗状況

2021年度までの達成目標	達成状況					2021年度 (目標)
	基準年	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
①市民一人あたりの二酸化炭素排出量 (2010年度、3.8t-CO ₂ /人)の10%削減を目指します。	3.8t-CO ₂ /人	3.9t-CO ₂ /人	3.82t-CO ₂ /人	3.68t-CO ₂ /人	集計中	3.42t-CO ₂ /人
②再生可能エネルギーの市内エネルギー消費量に対する割合0.3%(2010年度、0.05%)を目指します。 ※()内は、市内の再生可能エネルギー(FIT)導入率	0.05%	- (2.5%)	- (2.7%)	- (2.9%)	-	0.30%
③マイカーの使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用する市民の割合(2011年度、37.1%)の10ポイント増の47.1%を目指します。	37.1%	29.2%	26.4%	32.2%	30.9%	47.1%

- ① 市民一人あたりの二酸化炭素排出量は2017年度 3.90t-co₂/人、2018年度 3.82t-co₂/人、2019年度 3.68t-co₂/人と減少傾向にあります。2019年度の平均気温は、2018年度に比べて、6～8月に約1.7℃低く、12月～2月に約1.1℃高かったため、エネルギー消費量が抑えられたことも要因と考えられます。



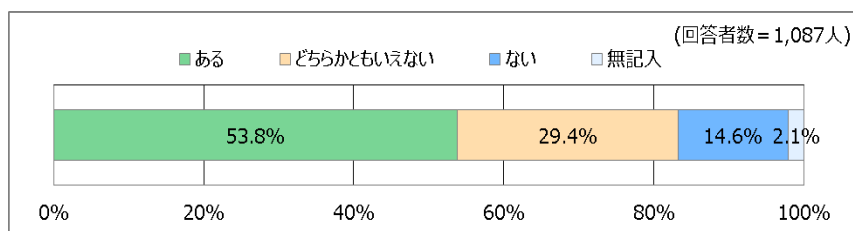
※市民一人あたりの二酸化炭素排出量は、市域の電気使用・都市ガス使用による二酸化炭素排出量、自動車利用に伴う二酸化炭素排出量、一般廃棄物の焼却に伴う二酸化炭素排出量の合計を市の人口で割って算出しています。

- ② 市の事業（補助金制度）は終了しているため、FITでの再生可能エネルギー率を記載しています。
※再生可能エネルギーの補助について、市の補助制度は終了しましたが、市ではホームページ等で国や都の補助制度の紹介を行っています。また市の事業としては太陽光発電等の普及啓発をイベントやホームページで行っています。
- ③ マイカーの使用をできるだけ控えるという市民の割合は2019年度に比べ、1.3ポイント減少しました。
※市民アンケート結果（いつもやっている30.9%）から算出

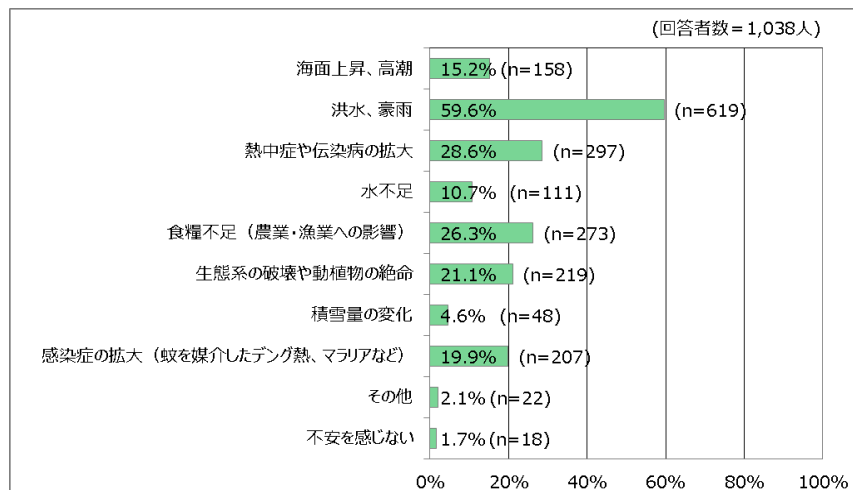
市民アンケート結果の紹介 ※2021年3月～4月に行った市民アンケートの速報値

地球温暖化について

Q. あなたは、町田市の気候が以前と比べて変わってきていると感じたことがありますか。



Q. 地球温暖化などの環境問題を原因とする異常気象の影響で、あなたが不安に感じることは何ですか。(2つまで)



施策の取り組み結果

取り組み結果の表記

◎：予定以上に進んだ ○：予定どおりに進んだ

△：あまり予定どおりに進まなかった ×：まったく予定どおりに進まなかった

－：取り組みなし(目標達成済又は終了した事業)

●重点事業(P18-19 参照)

関連達成目標	番号	重点事業名	目標	基準年度状況(値) (2015年度)	2020年度			目標(値) (2021年度)
					年度目標(値)	実績値	年度進捗目標	
①	1	「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援	わたしのエコ宣言参加者の増加	－	1,500人/年	1,129人/年 8,190人(延べ数)	△	10,000人(延べ数)
①	2	みどりのカーテン等の積極的な導入	公共施設参加数の増加	45施設	200施設(延べ数)	213施設(延べ数)	△	300施設(延べ数)
			市民向け苗の配布数の増加	8,000苗	9,000苗/年	2,000苗/年		10,000苗
①	3	歩道の透水性舗装の整備	透水性舗装面積の増加	25,958㎡	忠生732号線(尾根緑道)道路改良工事	14,73㎡/年 35,100㎡(累計)	○	34,240㎡
① ③	4	路線バス利用環境整備	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了	協議開始	乗り継ぎ拠点を活用したバス路線網再編検討	小山田方面から町田駅への急行バス運行についてバス事業者と合意	○	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了
①	5	水素ステーションの誘致	水素ステーションの誘致	－	1施設	誘致活動中	△	定置式または移動式1施設
①	6	エコドライブの周知、普及・啓発の実施	エコドライブ実践者の割合の増加	42.8%	－	48.4%	○	エコドライブ実践者の割合2015年度比10ポイント増
①	7	特別緑地保全地区等の指定拡大	特別緑地保全地区の面積の増加	43ha	広袴神明特別緑地保全地区の用地取得(取得予定面積約0.1ha)	47.5ha (取得面積約0.0991ha)	○	46ha

代表的なものや、補足説明が必要と考える事業での取り組みについて次頁に示します。

【重点事業 1】 「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援

「わたしのエコ宣言」は、地球温暖化防止のために日常生活の中で行う取り組みを市民に宣言してもらい、参加状況から二酸化炭素排出量削減の合計量をホームページで公表し、参加者が効果を実感することで更なる環境配慮行動の推進に繋げるものです。宣言者数は1,129人増加しました。年度目標には達しませんでした。新たに市民・事業者と協働で「まちバッグ」の作製を行い、市民に周知を図りました。2021年度も引き続き、呼びかけや周知を行い、宣言者数の増加に向けて事業を推進していきます。

わたしのエコ宣言とは

家庭ですぐにできる地球温暖化対策（10項目）の中から、実施する取り組みを選び、宣言します。

わたしのエコ宣言取り組み項目

		項 目	1年間の効果		宣言
			CO2削減量	節約	
1	台所	冷蔵庫の開け閉めを少なくする	3.6キログラム	230円	
2	部屋	使わない部屋の照明は消す	11.2キログラム	530円	



【重点事業 3】 歩道の透水性舗装の整備

透水性舗装は道路（歩道）などをすき間の多い舗装材で舗装することで雨水を地中に浸透させやすくする工法です。道路上に水たまりができにくくなったり、浸透した雨水が地下水の保全となったりしています。ゲリラ豪雨対策としても有効です。2020年度も年度目標を達成しました。

【重点事業 5】 水素ステーションの誘致

市内の交通量が多い幹線道路沿いを中心にステーション適地の検討を行いました。市内5～6箇所の誘致候補地を検討し、市有地の適地を事業者に提案しましたが決定には至りませんでした。引き続き、東京都や他部署及び地元の不動産事業者等と連携して情報収集を図り、誘致候補地の検討を行い、誘致に結び付けられるよう事業を推進していきます。

【重点事業 6】 エコドライブの周知、普及・啓発の実施

エコ宣言事業者と協働で、新たに「エコドライブステッカー」を作成し、市民・事業者向けに配布をしました。2020年度は、エコドライブを実践していると回答した人の割合が、48.4%となりました。

※市民アンケート結果「いつもやっている」割合48.4%から算出

基本目標 2

自然環境と歴史的文化的環境の保全 ～水とみどりと生き物を守り育むまちづくり～

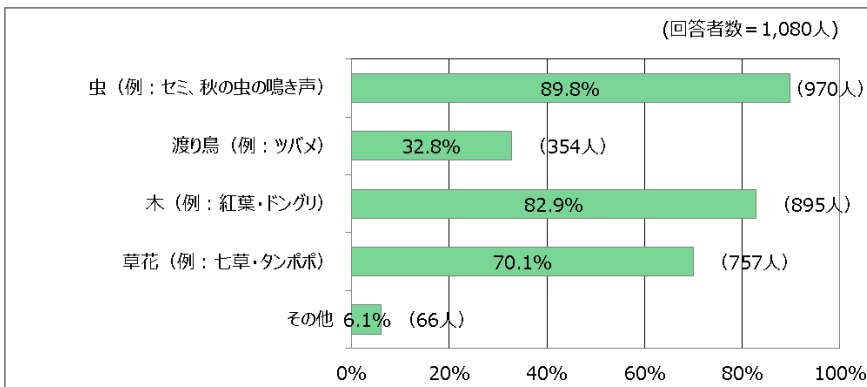
達成目標の進捗状況

2021年度までの達成目標	達成状況					2021年度 (目標)
	基準年	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
①市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合(2010年度、28.9%)を、2020年度までに概ね30%確保することを目指します。	28.9%	28.8%	28.7%	28.7%	28.6%	30%
②町田市内での水辺(河川・池・公園等の水辺)とのふれあいについて満足している市民の割合(2011年度、39.8%)の10ポイント増の49.8%を目指します。	39.8%	42.7%	46.6%	52.0%	48.2%	49.8%
③生きものに関心のある市民の割合40%(2013年度、31.3%)を目指します。	31.3%	37.4%	37.5%	33.7%	34.4%	40%

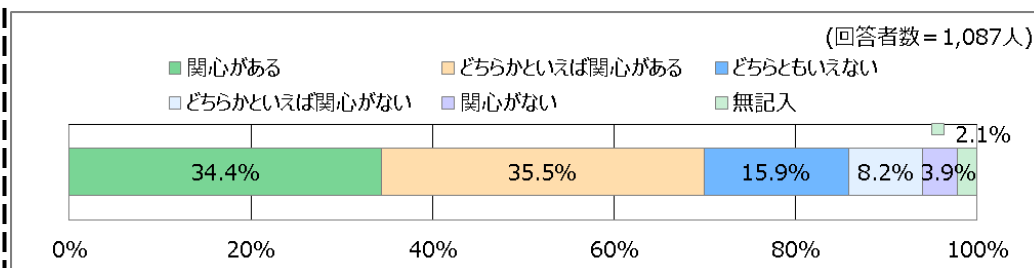
- ① 市域面積に占める緑地の割合は減少しています。緑地保全基金等を活用し緑地確保に取り組んでいます。生産緑地の減少もあり、基準年度比で減少している状況です。
- ② 水辺とのふれあいについて、満足している市民の割合は2019年度から3.8ポイント減少しました。
- ③ 生きものに関心のある市民の割合は2019年度と比較すると0.7ポイント増加、基準年からは3.1ポイント増加しました。

市民アンケート結果の紹介 町田市の生きものについて

Q. 町田市内のどのような生きものに、季節を感じますか。(あてはまるもの全て)



Q. 町田市内の生きものに関心がありますか。 達成目標 2-③



施策の取り組み結果

取り組み結果の表記

◎：予定以上に進んだ ○：予定どおりに進んだ

△：あまり予定どおりに進まなかった ×：まったく予定どおりに進まなかった

－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

●重点事業 (P20-22 参照)

関連 達成 目標	番号	重点事業名	目標	基準年度 状況(値) (2015年度)	2020年度			目標(値) (2021年度)
					年度目標(値)	実績値	年度 進捗 目標	
①	8	都市計画公園の用地 取得・整備	町田薬師池公園四季彩の 杜 西園の整備完了 野津田公園、芹ヶ谷公園の 一部整備完了	－	・北園整備検討 ・野津田公園拡張区域 の整備工事(その1)完了 ・芹ヶ谷公園(2期)実施 設計着手	・野津田公園拡張区域 の整備工事(その1)完了 ・芹ヶ谷公園(2期)基本 設計完了	△	・町田薬師池公園四季 彩の杜 整備完了 西園 (2019年度)、北園(2023 年度) ・一部整備完了 野津田公園(2021年 度)、芹ヶ谷公園(2019 年度)
②	9	水辺の魅力の発信	情報発信回数の増加	－	3回/年	3回/年	○	20回/年
					忠生公園の特色である 谷戸(湧水)の魅力を発 信するため、様々な観 察会を行う	12回/年	△	
③	10	生物多様性情報拠点 機能の構築・充実	生物多様性情報拠点機能 の整備・充実	内容、方向性の 検討	情報拠点機能の充実・ 周知	生物多様性情報拠点 機能の整備・充実	◎	生物多様性情報拠点機 能の整備・充実
①	11	北部丘陵の整備	新たな取り組みにより維持 管理や活用が図られた山林 等の面積の増加	－	・プロジェクト事業の実 証実験着手 ・里山環境の維持と緑 豊かな山林を保全する 仕組みの構築に向けた 調査及び制度設計	28,195㎡(累計)	○	5,000㎡
①	12	遊休農地のあっせん	農地あっせん面積の増加	14.3ha	里山の原風景を保全し ていくため、遊休化して いる農地1haの利活用 を図る	17.9ha	○	20ha
①	13	観光交流拠点を活用 したイベントの実施	小野路宿里山交流館での 自然や歴史・文化に関する イベント実施回数の増加	32回	40回/年	17回/年	△	40回/年

代表的なものや、補足説明が必要と考える事業について以下に示します。

【重点事業 10】 生物多様性情報拠点機能の構築・充実

市民通報アプリ「まちピカ町田くん」の撮影機能を活用し、市民が撮影した生きものの写真を、「生きもの発見レポート」として収集しました(1,473件)。収集したものはホームページや「まちだ生きものアルバム」で市民に広く紹介を行いました。さらにアプリと連動した企画「夏の生きもの探しキャンペーン」も実施しました。

【重点事業 13】 観光交流拠点を活用したイベントの実施

「里山農業体験」や「北部丘陵歴史ガイドツアー」など、自然や歴史・文化に関するイベントを計17回実施しましたが、年度目標には達しませんでした。2021年度も引き続き、小野路宿里山交流館でのイベントを通して次世代への継承に寄与できるよう、イベントを行っていきます。

基本目標 3

持続可能な循環型社会の構築 ～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

達成目標の進捗状況

2021年度までの達成目標	達成状況					2020年度 (目標)
	基準年	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
①ごみとして処理する量(資源ごみを含まない:2009年度、9万9千t)を40%削減し、2020年度に6万tにします	99,152t	92,894t	91,789t	94,309t	94,719t	60,000t
②一人一日あたりの総ごみ量(資源ごみを含む:2010年度、842g/人・日)を、2020年度までに782g/人・日に削減することを目指します。	842g	769.7g	757.8g	767.9g	774.7g	782.0g
③資源化率(2010年度、26.7%)を、2020年度までに54%まで高めることを目指します。	26.7%	25.8%	25.5%	24.8%	25.1%	54.0%

- ① ごみとして処理する量は、基準年から 4,433t 減少していますが、2019 年度からは 410t 増加しました。
新型コロナウイルス感染症拡大による巣ごもりによる家庭系ごみ増加の影響が大きいと考えられます。
- ② 一人一日あたりのごみ量は、2019 年度と比べると 6.8g 増加していますが、774.7g と目標は達成しています。
- ③ 資源化率は、基準年度からは 1.6 ポイント減少していますが、2019 年度から 0.3 ポイント増加しています。
家の片づけにより、古紙と古布の排出量が大きく増加したこと等が影響していると考えられます。

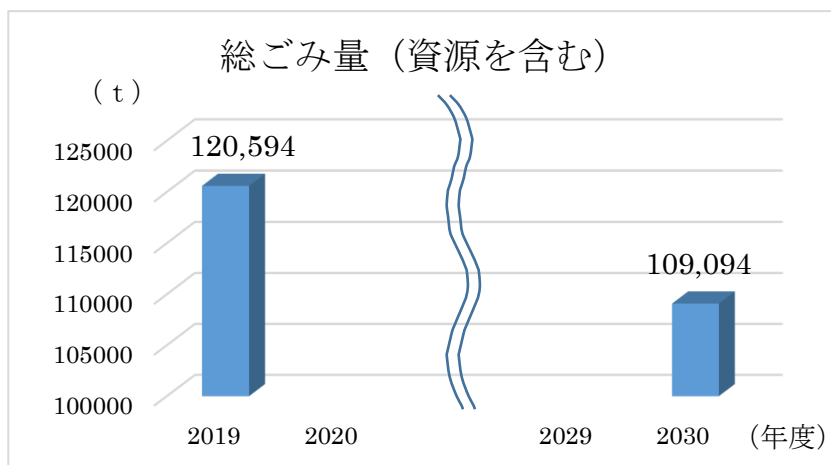
第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画について

2021 年度からを計画期間とする「第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画」を策定しました。

その中で、1 人 1 日あたりのごみ排出量を 2019 年度比で 7%削減するという目標や、ごみの焼却による温室効果ガスの排出量を 2019 年度比で 30%削減するという目標を掲げています。

また、具体的な取り組みを記載しているアクションプランでは、

「生ごみの発生抑制」や「プラスチックごみの発生抑制」、などを重点事業と位置付けています。より一層のごみの減量に向けて、これらの取組を推進していきます。



施策の取り組み結果

取り組み結果の表記

◎：予定以上に進んだ ○：予定どおりに進んだ

△：あまり予定どおりに進まなかった ×：まったく予定どおりに進まなかった

－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

●重点事業(P23-25 参照)

関連 達成 目標	番号	重点事業名	目標	基準年度 状況(値) (2015年度)	2020年度			目標(値) (2020年度)
					年度目標(値)	実績値	年度 進捗 目標	
①	14	情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用	リサイクル広場開催箇所数の増加	17ヶ所(2014年度)	・リサイクル広場開催ヶ所数24ヶ所	16ヶ所	△	23ヶ所 (2020年度)
			リサイクル広場来場者数の増加	30,000人(2014年度)	・リサイクル広場来場者数30,000人	17,482人		36,000人(2020年度)

関連達成目標	番号	重点事業名	目標	基準年度 状況(値) (2015年度)	2020年度			目標(値) (2020年度)
					年度目標(値)	実績値	年度 進捗 目標	
① ② ③	15	ごみ減量に関する出前講座の充実	出前講座実施回数の増加	104回/年(2014年度)	140回/年	104回/年	△	150 回/年(2020年度)
	16	食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施	キャンペーンの実施回数の増加	12回/年(2014年度)	40回/年	11回/年	△	20 回/年(2020年度)
	17	事業所向けの情報提供の実施	説明会開催回数	—	1回/年	1回	◎	1回/年(2020 年度)
			市内事業所への訪問件数の増加	—	100件/年	②145件(電話での指導を含む)		190件/年(2020 年度)
	18	生ごみ処理機の導入促進	生ごみ自家処理世帯数の増加	1,831世帯(2014年度)	生ごみ自家処理数 200世帯の増	296世帯増 3,749世帯(累計)	◎	14,981 世帯(2020 年度)
① ③	19	ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討	効果的な収集方法の確立	—	効率的な収集方法の確立に向けた情報収集や課題の集約を行う	効率的な収集方法を検討中	△	効果的な収集方法の確立(2020 年度)
	20	熱回収施設等の整備	熱回収施設等(焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設)の整備、稼働開始	事業者候補者選考委員会の開催、整備運営事業者の選定	・熱回収施設の建設工事を進める ・地区連絡会等において周辺住民と合意形成を図りながら、安心安全な施設の建設を進める	・掘削工事と地下躯体工事を完了し、地上躯体工事とプラント工事を進めている ・地区連絡会を2回実施し建設地周辺住民への情報提供を行うと共に、現場見学会を実施し、工事への理解促進を図った	○	稼働開始
	21	資源ごみ処理施設の整備	① 資源ごみ処理施設(相原)の整備、稼働開始 ② 資源ごみ処理施設(上山田)の整備、稼働開始	① 要求水準書案の作成準備 ② 施設計画等検討	・用地取得に向けて、必要な調査及び地権者との交渉を進める ・地区連絡会等において周辺住民と合意形成を図りながら、施設建設計画を推進する	用地取得に向けた測量を実施し、関係者との調整を行った	△	①稼働開始(2025年度) ②稼働開始(2027年度) ※2018年3月に稼働開始目標年度の見直しを行いました(当初目標は2020年度)。

代表的なものや、補足説明が必要と考える事業について以下に示します。

【重点事業 15】 ごみ減量に関する出前講座の充実

小学校等を訪問して実施する出前講座を 104 回実施しました。年度目標には達しませんでした。2020 年度からは Twitter だけでなく、新たに Instagram 及び YouTube チャンネルを開設し、動画等でもごみ減量に関する啓発を行いました。また、新規の取り組みとして、さるびあ図書館のそよかぜ号に同行して、ごみ相談窓口や 3R 公開講座を実施しました。

【重点事業 17】 事業所向けの情報提供の実施

大規模事業所(55 件)、中小事業所(90 件)に対して電話、訪問による指導を行いました。また、排出事業者向けの説明会を 1 回実施しました。中規模事業所の減量策として、一般廃棄物へのプラスチックの混入を防ぐためチラシ配布および商工会議所ニュースへの記事掲載を行いました。

基本目標 4

良好な生活環境の創造 ～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

達成目標の進捗状況

※1～7については、p 58 を参照ください。

2021年度までの達成目標			達成状況					2021年度 （目標）
			基準年	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
①大気に関するすべての項目での環境基準の達成を目指します。	SO ₂ ※ ¹		100%	100%	100%	100%	集計中	100%
	NO ₂ ※ ²		100%	100%	100%	100%	集計中	100%
	SPM※ ³		100%	100%	100%	100%	集計中	100%
②鶴見川、境川、恩田川の水質に関するすべての項目での環境基準の達成を目指します。	BOD※ ⁴	鶴見川	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		境川	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		恩田川	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	SS※ ⁵		100%	100%	100%	100%	100%	100%
	DO※ ⁶		100%	100%	100%	100%	100%	100%
	pH※ ⁷	鶴見川	100%	91%	81%	82%	89%	100%
		境川	100%	90%	78%	72%	86%	100%
		恩田川	83%	92%	42%	75%	67%	100%
③居住地の周辺環境について満足している市民の割合（2011年度、62.7%）の5ポイント増の67.7%を目指します。			62.7%	62.5%	65.4%	72.4%	67.3%	67.7%

- ① 大気に関するすべての項目で環境基準を達成しています。
- ② 水素イオン濃度（pH）以外は、環境基準を達成しています。pH は、基準値を超える測定結果が多くありました。3 河川ともアルカリ側に超過しており、藻の光合成の影響と考えられます。
- ③ 居住地の周辺環境に満足している市民の割合は、2019 年度から 5.1 ポイント減少、基準年からは 4.6 ポイント増加しています。

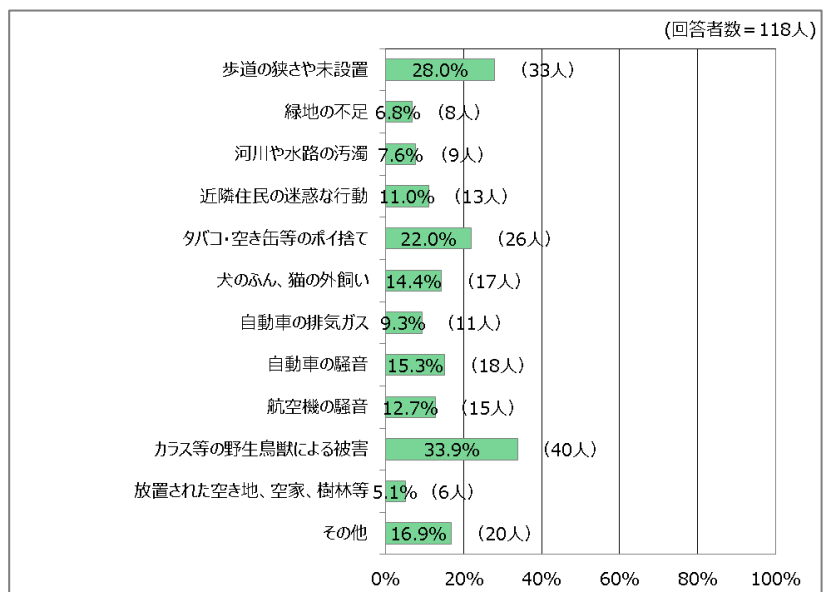
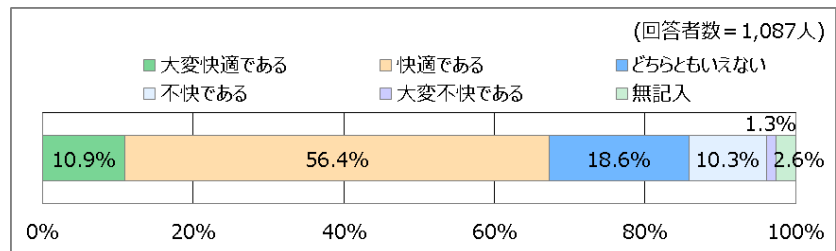
市民アンケート結果の紹介

居住地の周辺環境について

Q. あなたがお住まいになっている周辺の環境は、あなたにとって快適ですか。達成目標 4-③

※達成状況の中では、「大変快適」「快適」の回答を「満足」と読み替えて集計しています。

Q. 「不快である」「大変不快である」を選んだ方、現在お住まいになっている周辺の環境について、気になっていることは何ですか。
(2 つまで)



施策の取り組み結果

●重点事業（P26-27 参照）

取り組み結果の表記

◎：予定以上に進んだ ○：予定どおりに進んだ

△：あまり予定どおりに進まなかった ×：まったく予定どおりに進まなかった

－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

関連 達成 目標	番号	重点事業名	目標	基準年度 状況(値) (2015年度)	2020年度			目標(値) (2021年度)
					年度目標(値)	実績値	年度 進捗 目標	
①	22	自転車利用環境の整備	自転車走行空間整備延長	1.37km(2016年度)	2018年度に選定した箇所 に自転車レーンの設置を行う (町田95号線・町田749号線) 320m	3.26km(延べ数)	○	3.03km
②	23	下水道未整備箇所の 污水管整備の推進	下水道人口普及率の増加	98.5%	98.9%	98.9%	○	99.0%
②	24	下水処理水の水質向上	高度処理化率の増加(段階 的処理を含む)	9.8%	高度処理水質の確認	高度処理水質の確認 高度処理化率30%	○	20.6%
③	25	有害化学物質の適正 管理・処理の指導	全対象事業場57箇所(2016 年3月31日時点)への継続 監視	－	20件/年	20件/年	○	20件/年
③	26	生活風景宣言等によ る良好な景観づくり	「生活風景宣言」件数の増 加	－	5件	0件 (生活風景宣言の登録 に向け、登録手 順、登録要件、登録 チェックシート等をま とめた)	△	5件(2020年度)

【重点事業 22】 自転車利用環境の整備

大気汚染物質を排出しない自転車の利用を促進するため、自転車走行空間の整備を実施しています。2019年度に引き続き、予定通り自転車レーンの設置を行いました。

(町田95・町田749号線)

※自転車レーンを設置することで、歩道を通行する自転車が減り、歩行者の安全性が向上します。また、自動車・バイク等と自転車との通行位置が明確となり、双方の安全性が向上するなどがあります。



自転車レーン（町田95号線・町田749号線）

【重点事業 23】 下水道未整備箇所の污水管整備の推進

公共下水道真光寺町污水枝線工事ほか5案件の枝線工事を実施しました。下水道人口普及率は、98.9%となりました。2021年度も引き続き、污水管の整備を進めていきます。

基本目標 5

環境に配慮した生活スタイルの定着 ～学び・協働で進めるまちづくり～

達成目標の進捗状況

2021年度までの達成目標	達成状況					2021年度 (目標)
	基準年	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
①環境に配慮した行動を行っている市民の割合(2011年度、40.7%)の10ポイント増の50.7%を目指します。	40.7%	37.9%	37.5%	38.9%	39.6%	50.7%
②市内の小中学校での環境教育や環境配慮行動の100%実施を目指します。	100%	100%	100%	100%	100%	100%
③環境学習や環境に関するイベント等に積極的(いつも・ときどき)に参加する市民の割合(2011年度、10.6%)の7ポイント増の17.6%を目指します。	10.6%	15.1%	14.2%	13.0%	13.5%	17.6%

- ① 環境に配慮した行動を行っている市民の割合は 2019 年度から 0.7 ポイント増加しました。
- ② 市内の小中学校における環境学習は全校で継続的に行われており、定着しています。
- ③ 環境学習や環境に関するイベントへの参加率は 2019 年度から 0.5 ポイント増加しました。

市民アンケート結果の紹介

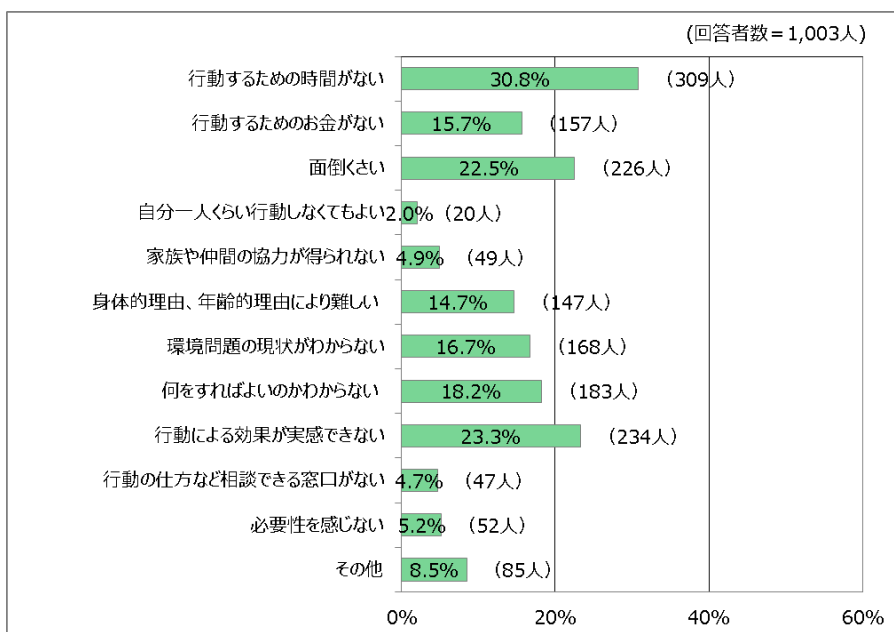
環境に配慮した行動について

Q. あなたのご家庭ではどのような環境に配慮した行動を行っていますか。

環境に配慮した行動の設問 23 項目の内、環境に配慮している項目(いつもやっているの割合)のベスト 3 は、分別をして資源とごみを出す 93.7%、白色発泡トレイやペットボトルなどは、リサイクルされるよう正しく出す 85.7%、買い物には、マイバッグ(買い物袋)を持参し、レジ袋や商品の過剰包装は断る 83.7%でした。

Q. 環境に配慮した行動を行う上で、「難しい点」「取り組みが行えない・行わない」理由は何ですか。
(2 つまで)

環境配慮行動を行う上で、「難しい点」「取り組みが行えない・行わない」理由は、「行動するための時間がない」が最も多く 30.8%でした。次いで、「行動による効果が実感できない」23.3%、「面倒くさい」22.5%、となっています。



施策の取り組み結果

取り組み結果の表記

◎：予定以上に進んだ ○：予定どおりに進んだ

△：あまり予定どおりに進まなかった ×：まったく予定どおりに進まなかった

－：取り組みなし（目標達成済又は終了した事業）

●重点事業 (P28-29 参照)

関連達成目標	番号	重点事業名	目標	基準年度 状況(値) (2015年度)	2020年度			目標(値) (2021年度)
					年度目標(値)	実績値	年度進捗目標	
②	27	環境副読本を活用した環境教育の実施	環境副読本の市内公立全小学校での活用	－	40校	35校	△	市内公立全小学校42校
① ③	28	子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実	既存プログラムの改善 新規プログラムの実施	新規プログラムの企画・実施による環境学習の充実	・既存プログラムの改善 ・新規プログラムの企画、実施	○	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実
①	29	まちだエコ宣言制度の推進	まちだエコ宣言制度への参加事業者数の増加	67店・事業所	70店・事業所	93店・事業所	◎	100店・事業所
①	30	ホームページの充実による情報集約・発信	エコページへのアクセス数の増加	3,987件	エコページへのアクセス数 4,000件以上 ※SNSへの「いいね！」の数を含む	4,562件 (ホームページ 2,474、SNS2,088)	◎	8,000件
			分野別・年代別環境学習一覧の作成	－		環境学習一覧の更新		環境学習一覧の作成 (2018年度)
①	31	ごみ減量サポーターの地域活動支援	ごみ減量サポーターが主体となり、出前講座やリサイクル広場の開催、大型生ごみ処理機導入を行う団体数の増加	－	20団体/年	6団体/年	△	10団体/年

代表的なものや、補足説明が必要と考える事業について以下に示します。

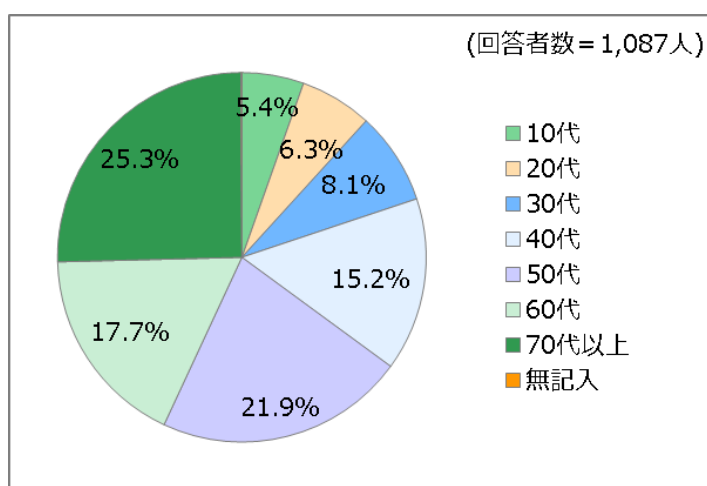
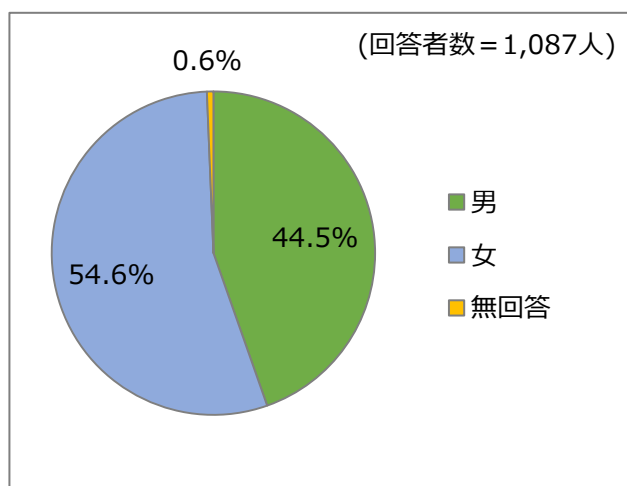
【重点事業 28】 子ども向け環境講座プログラムの企画・実施

2020年度は学校ビオトープを活用した出前授業（2回）、忠生公園での野外イベント「ザリガニ釣り」、大谷里山農園での里山イベント、子ども向け動画の作成を実施するなど、子ども達への学習機会の充実を図ることができました。

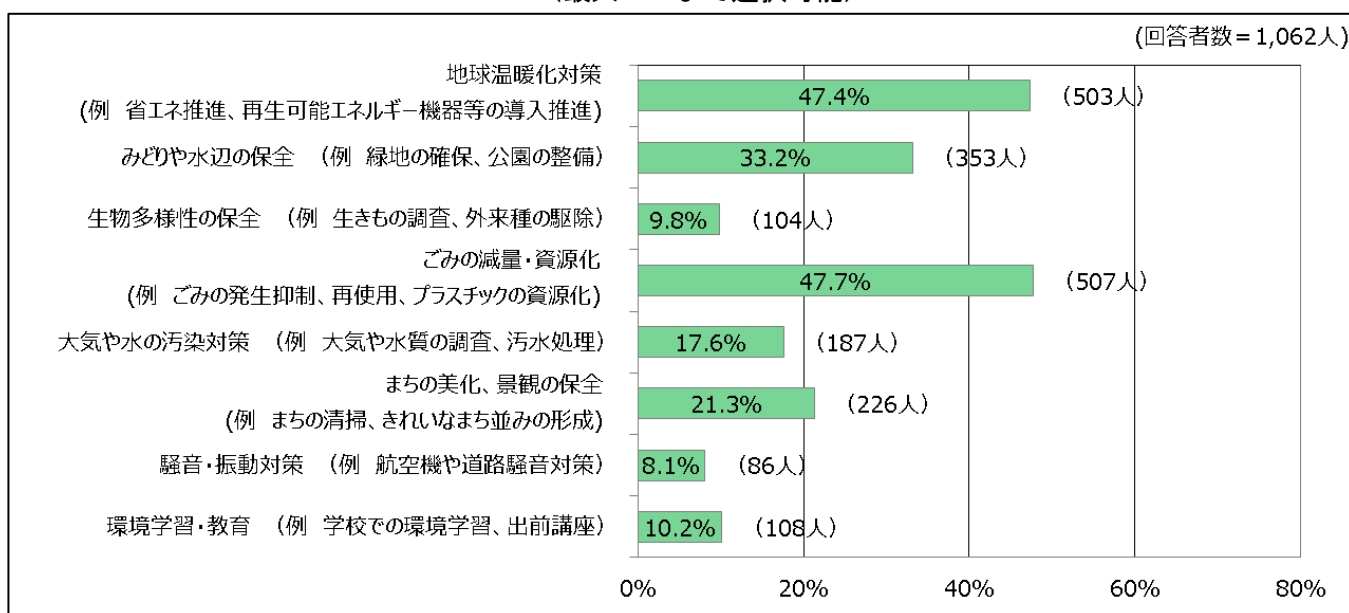
【重点事業 29】 まちだエコ宣言制度の推進

2020年度は、宣言数が93店・事業所となり、2019年度に比べ33店・事業所増加しました。事業者との協働を掲げ、エコドライブステッカーの作成や、まちだサステナビリティフェスの開催など、市内全体へESG経営の発信を行うことができました。

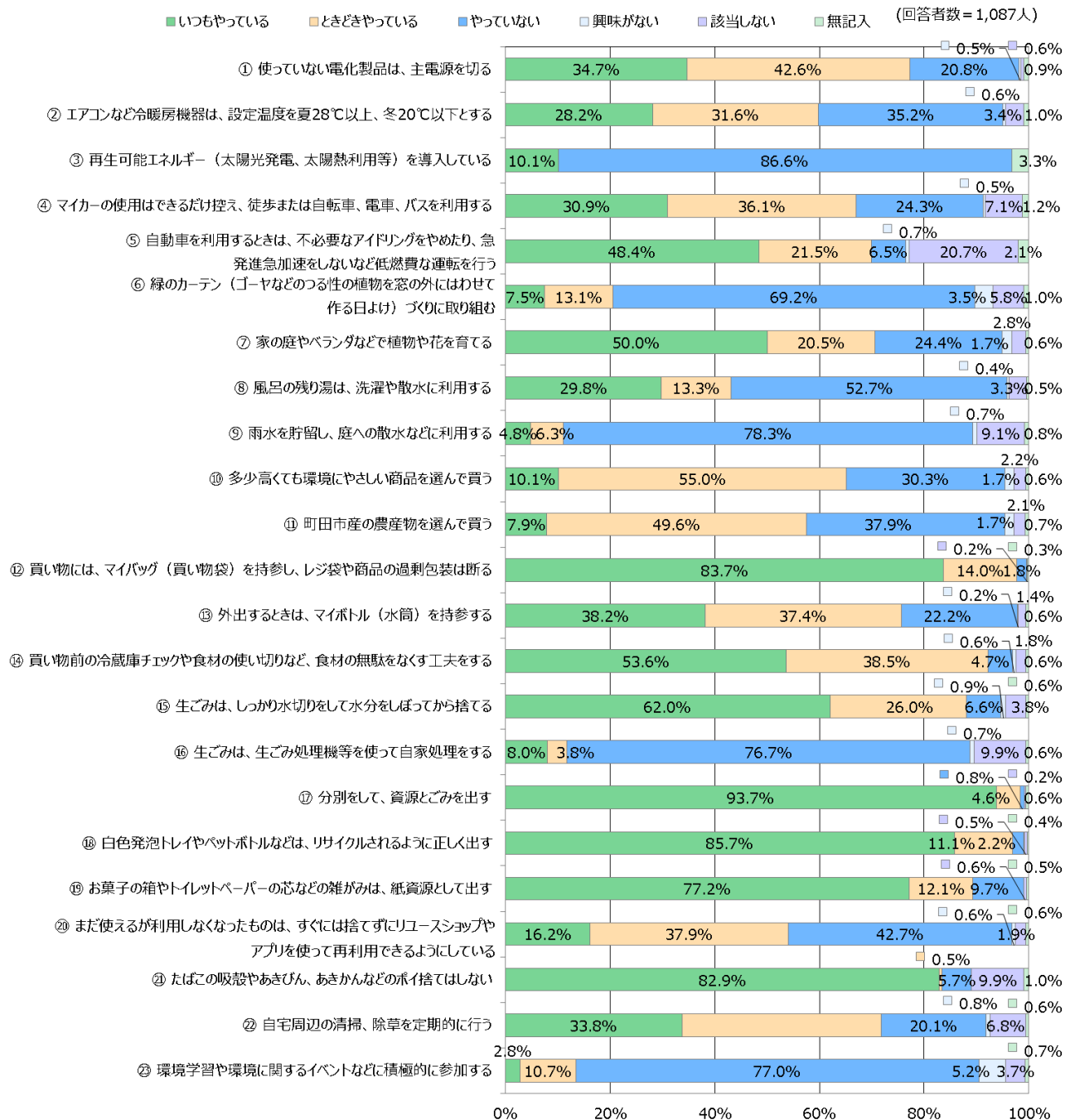
(参考) 市民アンケート結果の一部抜粋



Q 町田市が行っている環境全般に関する取り組みの中で今後も力を入れていくべきもの
(最大2つまで選択可能)



Q あなたはご家庭でどのような環境に配慮した行動を行っていますか。



（参考）第二次町田市環境マスタープラン2020年度取り組み結果一覧

重点事業

基本目標 1 地域で取り組む地球温暖化の防止 ～低炭素社会を目指すまちづくり～

●重点事業 1 「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援

事業概要	市民に、地球温暖化防止のために日常生活の中で行う取り組みを宣言してもらい、参加状況から二酸化炭素削減の合計量をホームページで公表し、参加者が効果を実感することにより更なる環境配慮行動の推進につなげます。		
2020 年度 実施内容	環境配慮行動を促す取り組みとして市民・事業者との連携・協働による「まちバッグ」の作製・配布、及び事業者との連携・協働による「エコドライブステッカー」の作製・配布を行いました。エコ宣言参加者は 1,129 人増え、累計で 8,190 人となりました。		
目標	わたしのエコ宣言参加者の増加	目標値	10,000 人
基準年度値	-	現状値	8,190 人
関係課	環境・自然共生課	進捗度	★★★★☆

●重点事業 2 みどりのカーテン等の積極的な導入

事業概要	市民団体「緑のカーテンプロジェクト」等と協働で、公共施設への緑のカーテン普及を図るとともに、家庭における緑のカーテン普及を推進します。		
2020 年度 実施内容	- 市民向けのゴーヤの苗の配布会を中止し、希望者へ種の郵送配布を行いました。 - 団体配布については、希望団体への苗の配達を行い、緑のカーテンづくりの取り組みを継続してもらいました。また多くのエコ宣言事業者が緑のカーテンづくりを職場で行うことで、従業員への環境意識の啓発につながっている声もいただきました。		
目標	① 公共施設参加数の増加 ② 市民向け苗の配布数の増加	目標値	① 300 施設 ② 10,000 苗
基準年度値	① 45 施設（2015 年度） ② 8,000 苗（2015 年度）	現状値	① 213 施設 ② 2,000 苗
関係課	環境・自然共生課	進捗度	★★★★☆

●重点事業 3 歩道の透水性舗装の整備

事業概要	雨水を浸透させることで地下水を保全し水循環の健全化を図るため、道路の新設や改良工事時に歩道の透水性舗装の整備を進めます。		
2020 年度 実施内容	忠生 732 号線(尾根緑道)道路改良工事及び都市計画道路 3・4・38 号線(木曾東)道路築造工事にて、透水性舗装 1,473 ㎡の整備を行い、目標値を早期に達成することが出来ました。		
目標	透水性舗装面積の増加	目標値	34,240 ㎡
基準年度値	25,958 ㎡（2015 年度）	現状値	35,100 ㎡
関係課	道路整備課	進捗度	★★★★★

※「目標値」「基準年度値」について

特に年度標記がない限り、「目標値」は 2021 年度、「基準年度値」は 2015 年度の値。

※「進捗度」について（★の数について）

★☆☆☆☆ 0・10% ★★☆☆☆ 20・30% ★★★☆☆ 40・50・60%
 ★★★★★ 70・80・90% ★★★★★ 達成

●重点事業4 路線バス利用環境整備

事業概要	公共交通利用を促進するため、バス路線網再編についてバス事業者及び関係機関との協議・調整を行い、路線バスの乗り継ぎ拠点を整備し、乗り継ぎ拠点を活用したバス路線網の再編を行います。		
2020 年度 実施内容	多摩都市モノレール延伸を見据えた段階的なバス路線網再編に向け、都市計画道路町田3・3・36号線開通に合わせた小山田方面から町田駅への急行バス運行について、バス事業者と合意しました。		
目標	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了	目標値	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了
基準年度値	協議開始	現状値	バス事業者との合意
関係課	交通事業推進課	進捗度	★★★☆☆

●重点事業5 水素ステーションの誘致

事業概要	燃料電池自動車普及のため、水素ステーションの市内誘致に向けた取り組みを進めます。		
2020 年度 実施内容	- 市内の交通量が多い幹線道路沿いを中心にステーション適地の検討を行いました。 - 市内5～6箇所の誘致候補地を検討し、市有地の適地を事業者に提案しましたが決定には至りませんでした。		
目標	水素ステーションの誘致	目標値	定置式または移動式1施設
基準年度値	-	現状値	誘致活動中
関係課	環境・自然共生課	進捗度	★☆☆☆☆

●重点事業6 エコドライブの周知、普及・啓発の実施

事業概要	市域全体の温室効果ガス排出量の多くを占める自動車からの排出削減のため、エコドライブの周知、普及・啓発を行い、エコドライブを推進します。		
2020 年度 実施内容	- 東京都及び町田ドライビングスクールと連携し、エコドライブ講習を予定していましたが中止となりました。 - エコ宣言事業者であるFC町田ゼルビアと協働で、エコドライブステッカーを作成し、市民・事業者向けに配布をしました。		
目標	エコドライブ実践者の割合の増加	目標値	エコドライブ実践者の割合 2015年度比10ポイント増
基準年度値	42.8%（2015年度）	現状値	48.4%
関係課	環境・自然共生課	進捗度	★★★☆☆

●重点事業7 特別緑地保全地区等の指定拡大

事業概要	二酸化炭素の吸収源としてみどりを確保するため、特別緑地保全地区等の指定拡大を目指します。		
2020 年度 実施内容	広袴神明特別緑地保全地区用地の取得を予定通り実施いたしました。		
目標	特別緑地保全地区の面積の増加	目標値	46.0ha（2021年度）
基準年度値	43.0ha（2015年度）	現状値	47.5ha
関係課	公園緑地課	進捗度	★★★★★

基本目標 2

自然環境と歴史的文化的環境の保全

～水とみどり生き物を守り育むまちづくり～

●重点事業8 都市計画公園の用地取得・整備

事業概要	市内のみどりの拠点となる都市公園として、町田薬師池公園四季彩の杜 西園・北園、野津田公園、芹ヶ谷公園の整備を進めます。		
2020 年度 実施内容	● リス園の配置検討を行いました。 ● 野津田公園拡張区域の整備工事を実施しました。 ● 芹ヶ谷公園（2期）基本設計が完了しました。		
目標	① 町田薬師池公園四季彩の杜 西園・北園の整備完了 ② 野津田公園、芹ヶ谷公園の一部整備完了	目標値	① 町田薬師池公園四季彩の杜 整備完了、西園（2019 年度）、北園（2021 年度） ② 野津田公園拡張区域（2021 年度）、芹ヶ谷公園（2019 年度）一部整備完了
基準年度値	-	現状値	① 町田薬師池公園四季彩の杜西園 整備完了 ② 芹ヶ谷公園（1 期）整備完了
関係課	公園緑地課	進捗度	★★★★☆

●重点事業9 水辺の魅力の発信

事業概要	市民の水辺に対する関心を高め、水辺の保全・活用を進めるため、水辺の魅力について情報発信を行います。		
2020 年度 実施内容	【環境・自然共生課】 ● ECOまちだ 10 月 1 日号に、トンボ(水辺で見られる生きもの) のコラムを掲載しました。 ● 9月にザリガニ釣りを実施し、事業の情報を発信しました。 ● 12 月の生きもの共生フォーラムで、鶴見川の生きものについて講演を実施しました。 ● 市民通報アプリ「まちピカ町田くん」で収集した情報を、1 年を通して定期的にホームページを更新し、紹介しています。 ● 「まちだ〇ごと大作戦 18-20」の湧水調査に協力し、調査結果を団体に提供しました。 ----- 【公園緑地課】 ● 市民に向けて自然観察会（植物、昆虫、野鳥）を行いました。		
目標	情報発信回数の増加	目標値	20 回
基準年度値	-	現状値	【環境・自然共生課】 3 回 【公園緑地課】 12 回
関係課	環境・自然共生課、公園緑地課	進捗度	★★★★☆

●重点事業10 生物多様性情報拠点機能の構築・充実

事業概要	町田市の生物多様性に関する情報や資料の収集・発信の拠点（生物多様性センター）の機能整備・充実を図ります。		
2020 年度 実施内容	● 市民通報アプリ「まちピカ町田くん」の撮影機能を活用し、市民の方が撮影した生きものの写真を「生きもの発見レポート」として 1,473 件収集しました。 ● 集めた情報をホームページに掲載し、24 回更新を行いました。 ● 収集した写真をまとめた冊子「まちだ生きものアルバム」を発行しました。 ● アプリと連動した企画「夏の生きもの探しキャンペーン」を実施しました。 ● ホームページ上のコンテンツ「市内活動団体・取り組み紹介」の充実を図るために市民活動団体を訪問し、ホームページを更新しました。 ● 市内5カ所の公園に生物多様性情報拠点の情報を提供する「生きもの情報コーナー」を設置しました。		
目標	生物多様性情報拠点機能の整備・充実	目標値	生物多様性情報拠点機能の整備・充実
基準年度値	内容、方向性の検討 (2015 年度)	現状値	生物多様性情報拠点機能の整備・充実
関係課	環境・自然共生課	進捗度	★★★★★

●重点事業11 北部丘陵の整備

事業概要	北部丘陵が持つ資産を磨き、地域の価値を高めるため、手入れの届かない山林を再生保全し、持続性のある仕組みをつくり、さらなる環境整備等を行います。		
2020 年度 実施内容	● 試行的なプロジェクト事業として、「まちだ〇ごと大作戦 18ー20」を活用し、下小山田町の民有地にマウンテンバイクコースを整備し、試乗イベントを実施しました。参加した地域住民や自転車愛好家の機運が高まり、次年度以降も引き続き実施することになりました。 ● また、小野路町において、竹林を活用したイベントの実施に向け、地域住民や主催者などと協議を進めました。 ● 2021 年度の実行計画の策定に向け、まちだの里山の将来像をまとめ、あわせて里山の活用保全に関する市場調査と地域住民等へのアンケート調査を実施しました。 ● 地域住民との協議と調査の結果を踏まえ、新たな実行計画の素案を作成しました。 ● 先行して実施しているモデル事業および地域住民や企業に対して実施した山林の活用に関する調査の結果を参考に、山林の活用に関する運用方針を作成し、山林バンクの制度化を構築しました。		
目標	新たな取り組みにより維持管理や活用が図られた山林等の面積の増加	目標値	5,000 ㎡
基準年度値	-	現状値	28,195 ㎡
関係課	農業振興課	進捗度	★★★★★

●重点事業12 遊休農地のあっせん

事業概要	休耕している農地を耕作希望者にあっせんすることで遊休農地の活用を図り、農業振興を行います。		
2020 年度 実施内容	● 2021 年 1 月に農地バンク公開を行い、新たに 2 件の農地をあっせんしました。		
目標	農地あっせん面積の増加	目標値	20.0ha
基準年度値	14.3ha（2015 年度）	現状値	17.9ha
関係課	農業振興課	進捗度	★★★★☆

●重点事業13 観光交流拠点を活用したイベントの実施

事業概要	観光交流拠点で実施するイベントを通じて、地域の歴史・自然・文化を情報発信するとともに、次世代への継承に寄与します。		
2020 年度 実施内容	● 自然や歴史・文化に関する 17 のイベントを実施し、次世代への継承を図りました。		
目標	小野路宿里山交流館での自然や歴史・文化に関するイベント実施回数の増加	目標値	40 回/年
基準年度値	32 回（2015 年度）	現状値	17 回/年
関係課	観光まちづくり課	進捗度	★★★★☆

基本目標 3

持続可能な循環型社会の構築

～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

●重点事業14 情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用

事業概要	リサイクル広場を情報発信拠点と位置づけ「地域リサイクル広場」を拡充・拡大し開催回数を増やす中で、効果的に様々な情報発信を行います。		
2020 年度 実施内容	● 緊急事態宣言発令を受け、4月から6月までの期間、休止を余儀なくされることがありましたが、その後は、感染防止対策をしながら実施をしました。 ● 新たに市庁舎での移動リサイクル広場の開催を開始しました。		
目標	① リサイクル広場開催箇所数の増加 ② リサイクル広場来場者数の増加	目標値	① 23ヶ所（2020 年度） ② 36,000 人（2020 年度）
基準年度値	① 17ヶ所（2014 年度） ② 30,000 人（2014 年度）	現状値	① 16ヶ所 ② 17,482 人
関係課	3R推進課	進捗度	★★★★☆

●重点事業15 ごみ減量に関する出前講座の充実

事業概要	ごみの減量についての意識の向上を図るため、地域や学校、幼稚園などへのごみについての出前講座を継続して開催します。また、講座内容の充実を図ります。		
2020 年度 実施内容	● Instagram、Twitter 及び YouTube チャンネルを開設し、動画でごみ減量の啓発を行いました。さらに新規取り組みとしてさるびあ図書館のそよかぜ号に同行して、ごみ相談窓口や3R 公開講座を実施しました。 ● 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、手法を変更しながら実施した取り組みについて振り返りを行い、次年度の実施手法について検討しました。		
目標	出前講座実施回数の増加	目標値	150 回／年（2020 年度）
基準年度値	104 回／年（2014 年度）	現状値	104 回／年
関係課	3R推進課	進捗度	★★★★☆

●重点事業16 食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施

事業概要	ごみの発生抑制を図るため、全国的な食品ロスの状況や町田市のごみの現状について各種機会を通じて伝えることで「もったいない意識」を啓発します。		
2020 年度 実施内容	● 市内のスーパーにて 10 月に「今が食べごろめしあがれキャンペーン」を実施し、来客者に賞味期限と消費期限の違いを周知する啓発チラシを配布しました。また、3月に町田マルイにおいてブース出展し、来客者に SDGs におけるごみ減量の啓発を行いました。 ● 秋の防災フェア、10 月の3R推進月間、年末年始の「まちだ☆おいしい食べ切りキャンペーン」にて啓発ポスターを掲示しました。また、食品ロスをテーマとして川柳の募集を行いました。 ● SNS で食品ロス削減について情報発信しました。		
目標	キャンペーンの実施回数の増加	目標値	20 回／年（2020 年度）
基準年度値	12 回／年（2014 年度）	現状値	11 回／年
関係課	3R推進課	進捗度	★★★★☆

●重点事業17 事業所向けの情報提供の実施

事業概要	丁寧できめ細かな情報提供のために「ごみ排出事業所」向けの説明会を実施するとともに、廃棄物の基本情報から事業コスト軽減に役立つ情報等を併せた、適正処理ルールブックを作成し、戸別訪問での啓発活動を実施します。		
2020 年度 実施内容	● 55 件の大規模事業所に対して電話、訪問による指導を行いました。 ● 少量排出事業者の登録時の指導等、合計 90 件の中小事業所への訪問、電話指導を実施しました。 ● 排出事業者向けの説明会を 1 回実施しました。 ● 中規模事業所の減量策として、一般廃棄物へのプラスチックの混入を防ぐためチラシ配布および商工会議所ニュースへの記事掲載を行いました。		
目標	① 説明会開催回数 ② 市内事業所への訪問件数の増加	目標値	① 1 回/年（2020 年度） ② 190 件/年（2020 年度）
基準年度値	-	現状値	① 1 回 ② 145 件（電話での指導を含む）
関係課	3R推進課	進捗度	★★★★☆

●重点事業18 生ごみ処理機の導入促進

事業概要	生ごみの資源化を進めてごみの発生抑制を図るため、たい肥化容器や生ごみ処理機の購入補助制度などを活用し、生ごみ自家処理の普及を進めます。		
2020 年度 実施内容	● 家庭用生ごみ処理機の導入促進に向け、8月発行の「ごみナクナーレ」で購入補助制度について特集を組みPRを行いました。 ● 大型生ごみ処理機については、新たに1台設置できました。 ● ダンボールコンポストについては、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、講習会を実施しました。また、まちだエコライフ推進公社と連携するための調整を行いました。 ● まちだエコライフ推進公社と連携するため調整を行いました。		
目標	生ごみ自家処理世帯数の増加	目標値	14,981 世帯（2020 年度）
基準年度値	1,831 世帯（2014 年度）	現状値	3,749 世帯
関係課	3R推進課	進捗度	★★☆☆☆

●重点事業19 ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討

事業概要	新たなごみの資源化施設の稼働により収集品目(容器包装プラスチック)が増え、またごみの資源化施設が分散（3ヶ所）するため、稼働時期に合わせた収集方法等を検討します。		
2020 年度 実施内容	● 収集体制の検討にあたり、近隣市との情報交換や収集委託事業者からのヒアリングを実施する等、情報の収集にあたりました。 ● 課題の集約については、収集体制の効率化、収集経費の適正化、外的要因への3つの観点に分類し整理しました。 ● コンサルタント契約にあたり、3つの事業者から情報を収集しました。		
目標	効果的な収集方法の確立	目標値	効果的な収集方法の確立（2025 年度）
基準年度値	-	現状値	効率的な収集方法を検討中
関係課	3R推進課	進捗度	★★★★☆

●重点事業20 熱回収施設等(焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設)の整備

事業概要	ごみの減量と資源化を進めるため、市民協働により策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、町田リサイクル文化センター敷地内に熱回収施設等の整備を進めます。		
2020 年度 実施内容	2018 年8月から引き続き建設工事を実施している最中であり、掘削工事と地下躯体工事を完了し、地上躯体工事とプラント工事を進めています。 - 地区連絡会を2回実施し建設地周辺住民への情報提供を行うと共に、現場見学会を実施し、工事への理解促進を図りました。		
目標	熱回収施設等(焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設)の整備、稼働開始	目標値	稼働開始
基準年度値	事業者候補者選考委員会の開催、整備運営事業者の選定	現状値	地上躯体工事とプラント工事の実施
関係課	循環型施設整備課	進捗度	★★★★☆

●重点事業21 資源ごみ処理施設の整備

事業概要	ごみの減量と資源化を進めるため、市民協働により策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、相原地区、上小山田地区に容器包装プラスチックやビン・カン、ペットボトル等を資源化する施設の整備を進めます。		
2020 年度 実施内容	用地取得に向けた測量を実施し、関係者との調整を行いました。		
目標	① 資源ごみ処理施設(相原)の整備、稼働開始 ② 資源ごみ処理施設(上小山田)の整備、稼働開始	目標値	① 稼働開始(相原・2025 年度) ② 稼働開始(上小山田・2027 年度) ※ 2018 年3月に稼働開始目標年度の見直しを行いました(当初目標は2020 年度)。
基準年度値	① 要求水準書案の作成準備 ② 施設計画等検討	現状値	① 関係者等と調整中 ② 関係者等と調整中
関係課	循環型施設整備課	進捗度	★★☆☆☆

基本目標 4

良好な生活環境の創造

～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

●重点事業22 自転車利用環境の整備

事業概要	大気汚染物質を排出しない自転車の利用を進めるため、自転車走行空間の整備を進めます。		
2020 年度 実施内容	【道路政策課】 - 町田 95 号線で自転車レーン設置工事を実施しました。(320m) - 次期整備箇所である町田 414 号線・町田 664 号線と、町田 437・忠生 1300 号線について、警視庁協議を行いました。 【道路整備課】 - 町田 95 号線で自転車レーン設置工事を実施しました(320m)。		
目標	自転車走行空間整備延長	目標値	3.03km
基準年度値	1.37km(2016 年度)	現状値	3.26km
関係課	道路政策課、道路整備課	進捗度	★★★★★

●重点事業23 下水道未整備箇所の污水管整備の推進

事業概要	汚水を適正に処理し、河川水質の向上を図るため、下水道未整備箇所の下水道の整備を推進します。		
2020 年度 実施内容	公共下水道真光寺町污水枝線工事ほか5案件の枝線工事を実施しました。		
目標	下水道人口普及率の増加	目標値	99.0%
基準年度値	98.5%(2015 年度)	現状値	98.9%
関係課	下水道整備課	進捗度	★★★★☆

●重点事業24 下水処理水の水質向上

事業概要	下水処理場(鶴見川クリーンセンター)への高度処理施設の増設により、下水処理水の水質向上を図ります。		
2020 年度 実施内容	鶴見川クリーンセンターにおいて、稼働している高度処理施設の運転調整を適切に行い、窒素含有量とりん含有量の低減を確認しました。また、成瀬クリーンセンターにおける高度処理技術に関する実証研究は予定通り進捗しました。		
目標	高度処理化率の増加(準高度処理を含む)	目標値	20.6%
基準年度値	9.8%(2015 年度)	現状値	30.0%
関係課	水再生センター	進捗度	★★★★★

●重点事業25 有害化学物質の適正管理・処理の指導

事業概要	有害物質使用特定事業場からの土壌・地下水汚染を未然に防止するため、継続的に指導を行い、事業者の適正な有害物質の管理・使用を促します。		
2020 年度 実施内容	● 昨年度までの立入指導結果と新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、6月に立入計画を立案しました。 ● 立入計画に挙げていた事業場と今年度施設の新設や変更があった事業場等合わせて 20 件の事業場に対し立入を行い、有害物質を使用している機械の構造基準や使用方法に関して指導しました。また、必要な届出が提出されていない事業場に対しては届出指導を行いました。		
目標	全対象事業場 57 箇所（2016 年 3 月 31 日時点）への継続監視	目標値	20 件／年
基準年度値	-	現状値	20 件／年
関係課	環境保全課	進捗度	★★★★★

●重点事業26 生活風景宣言等による良好な景観づくり

事業概要	景観という言葉の浸透を目指し、身近な取り組みで「まちの美化」につながる取り組みを宣言してもらう「生活風景宣言」を制度として推進していきます。意識の高まりに合わせて、景観協定の締結や地域景観資源の登録につなげていきます。		
2020 年度 実施内容	● 生活風景宣言の登録に向け、登録手順、登録要件、登録チェックシート等をまとめました。		
目標	「生活風景宣言」件数の増加	目標値	5 件（2020 年度）
基準年度値	-	現状値	0 件
関係課	地区街づくり課	進捗度	★☆☆☆☆

基本目標 5

環境に配慮した生活スタイルの定着 ～学び・協働で進めるまちづくり～

●重点事業27 環境副読本を活用した環境学習の実施

事業概要	市内公立小学校の授業や自宅学習で「環境副読本」を活用し、環境問題への意識を高めるとともに、町田市環境について考える機会を提供します。		
2020 年度 実施内容	【指導課・環境政策課】 ● 12 月に活用状況を確認するアンケートを実施しました。その結果を受け、校長会で現状や活用事例を紹介しました。		
目標	環境副読本の市内公立全小学校での活用	目標値	市内公立全小学校 42 校
基準年度値	-	現状値	市内公立全小学校 35 校
関係課	指導課、環境政策課	進捗度	★★★★☆

●重点事業28 子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施

事業概要	子どもへの環境学習を進めるため、環境に関する実験や体験を重視した子ども向け環境講座のプログラムを企画・実施し、学習機会の充実を図ります。		
2020 年度 実施内容	● 学校ビオトープを活用した出前授業を2回、忠生公園での野外イベント「ザリガニ釣り」を1回、大谷里山農園での里山学習イベントを1回、子ども向け動画の作成、燃料電池自動車を活用した水素環境学習を1回行いました。 ● 以上の企画を実施し、子どもへの学習機会の充実を図りました。		
目標	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実	目標値	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実
基準年度値	既存プログラムの改善 新規プログラムの実施（2015 年度）	現状値	既存プログラムの改善 新規プログラムの企画、実施
関係課	環境・自然共生課	進捗度	★★★★★

●重点事業29 まちだエコ宣言制度の推進

事業概要	事業者と市の協働による環境配慮活動の推進に向け、自主的に環境配慮活動（エコ活動）を行っている事業者がその取り組み内容を宣言（エコ宣言）し、市に登録します。市は、その取り組み内容を市民や他の事業者にも広くPRし、更なる環境配慮型の事業活動及び消費活動を促進します。		
2020 年度 実施内容	● 「町田市環境白書 2020 活動報告」で取り組みのようすを紹介しました。 ● エコ宣言参加事業者に年度末に活動報告を提出してもらい、それぞれの活動報告をまとめ、ホームページで紹介しました。 ● 事業者との協働を掲げ、エコドライブステッカー作成や、まちだサステナビリティフェスの開催など、他部署との連携のほか、市内全体へ ESG 経営の発信を行うことができました。		
目標	まちだエコ宣言制度への参加事業者数の増加	目標値	100 店・事業所
基準年度値	67 店・事業所（2015 年度）	現状値	93 店・事業所
関係課	環境・自然共生課	進捗度	★★★★☆

●重点事業30 ホームページの充実による情報集約・発信

事業概要	町田市ホームページに作成した「エコページ」を活用し環境情報の収集・発信を強化します。また、分野別・年代別など、わかりやすい情報発信を行います。		
2020 年度 実施内容	Instagram、Twitter を活用し、他課との連携を深めながら情報発信を行いました（2020 年度は、Instagram のフォロワー数 451、いいね！数 2,088、投稿回数 56。Twitter のフォロワー数 243、投稿回数 56。）		
目標	① エコページへのアクセス数の増加 ② 分野別・年代別環境学習一覧の作成	目標値	① 8,000 件 ② 環境学習一覧の作成（2018 年度）
基準年度値	① 3,987 件（2015 年度） ② -	現状値	① 4,562 件（2,474 件） ※SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス=Social Networking Service）の「いいね！」の数を含む。（）内はエコページのアクセス数のみ。 ② 作成済み
関係課	環境政策課	進捗度	★★★★☆☆

●重点事業31 ごみ減量サポーターの地域活動支援

事業概要	町内会・自治会で、出前講座やリサイクル広場、ダンボールコンポスト説明会等を開催するなど、「ごみ減量サポーター」がそれぞれの地域で、ごみ減量をすすめ、地域で活躍する取り組みを支援します。		
2020 年度 実施内容	- ごみ減量サポーターが主体となって地域リサイクル広場を開催した団体数は、4 団体でした。ごみ減量サポーターが主体となって出前講座を開催した団体数は、1 団体でした。 - 市主催のごみ減量サポーター向け研修会を 11 月に 3 力所の会場で実施しました。 - この他に、サポーター活動のヒントとなる資料を委嘱時に渡し、活用をお願いしています。 - さらに、南地区での容器包装プラスチック分別協力率向上を目的として、文書と資料を同地区内のごみ減量サポーターに通知しました。		
目標	ごみ減量サポーターが主体となり、出前講座やリサイクル広場の開催、大型生ごみ処理機導入を行う団体数の増加	目標値	10 団体/年
基準年度値	-	現状値	6 団体/年
関係課	3R 推進課	進捗度	★★★★☆☆

その他の施策

基本目標 1

地域で取り組む地球温暖化の防止 ～低炭素社会を目指すまちづくり～

(1) 地球温暖化防止の意識の浸透を図り、取り組みを促します

取り組み項目		2020 年度実施内容			
① 地球温暖化対策の取り組みの情報を分かりやすく発信します					
パンフレットの配布、ホームページ等による地球温暖化対策の取り組みや助成制度等の情報提供	- エコ宣言などの呼びかけ、取り組みの紹介を行いました。 - ホームページでは国や都で実施されている助成制度などの情報提供を行いました。 「わたしのエコ宣言」を広く市民に呼びかけ、多くの市民にエコ宣言をしていただきました。				
	関係課	環境・自然共生課	評価	○	
地球温暖化対策の具体的な取り組みの周知	広報まちだや ECO まちだ、ホームページ、イベントなどで情報提供を行いました。				
	関係課	環境・自然共生課	評価	○	
② 温室効果ガス排出量やエネルギー使用量の「見える化」を進めます					
市の施設からの温室効果ガス排出量、エネルギー使用量の公表	市内全域の温室効果ガス排出量を取りまとめ、「環境白書 2020」と市のホームページで公表しました。				
	関係課	環境政策課	評価	○	
家庭でのエネルギー使用量を測定するための「省エネナビ」等の貸し出しの実施	イベント時に家庭でできる取り組みのひとつとして紹介しました。				
	関係課	環境・自然共生課	評価	○	
エネルギー使用測定のためのツールやアプリに関する情報の収集・提供	ホームページや関係機関誌などから情報収集を行いました。				
	関係課	環境・自然共生課	評価	○	
③ 地域や市民の地球温暖化対策の取り組みを促進するための仕組みを運用します					
→重点事業 1（「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援）P18参照					

※「評価」について

◎：予定以上に実施できた ○：予定どおりに実施できた △：あまり予定通りに実施できなかった
×：まったく予定通りに実施できなかった -：取り組みなし（目標達成済み又は終了した事業）

(2) 持続可能なエネルギー利用への転換を図ります

取り組み項目	2020 年度実施内容			
① 公共施設における取り組みを進めます				
公共施設への 再生可能エネルギー・省エネ機器 の導入推進	- 省エネ機器については、発注案件の多数を占める学校施設において、空調機や変圧器でトップランナー基準をクリアした製品を導入しました。 - 再エネ機器では、町田第一中学校にて太陽光発電設備の導入に伴う設計業務委託を完了し、工事に移行する準備を整えています。			
	関係課	営繕課	評価	○
	- 町田第六小学校防音工事（18-20 債務負担）と併行してトイレ改修を行い、節水型トイレやセンサー照明を採用しました。 - また、避難施設の機能向上工事において、小学校 7 校、中学校 17 校の体育館照明のLED化を行いました。			
	関係課	施設課	評価	○
ごみの資源化施設への再生可能エ ネルギーの導入推進	具体的な取り組みはありませんでした。			
	関係課	循環型施設整備課	評価	—
未利用エネルギーの活用	本年度、基本設計を日本下水道事業団と協定締結し、焼却炉の排ガスエネルギーを利用した過給式燃焼炉の基本設計を行いました。			
	関係課	水再生センター	評価	△
街路灯・園内灯の省エネ化	街路灯全灯（約3万灯）のLED化への更新が完了しました。			
	関係課	道路維持課	評価	○
	水銀灯が主である公園の園内灯約 1,600 灯を LED に交換しました。			
	関係課	公園緑地課	評価	○
市庁舎の屋上緑化・壁面緑化	新型コロナの為、ボランティアの参加は出来ず、支援事業者だけで行いました。			
	関係課	市有財産活用課	評価	△
→重点事業2（みどりのカーテン等の積極的な導入）P18参照				
② 家庭における取り組みを促進します				
市民を対象とした住宅用太陽光発 電システムをはじめとする省エネ 機器の情報提供による普及促進	東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページを通じて行いました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
家庭への省エネ機器等の導入支援 の検討、情報提供	東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページを通じて行いました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○

取り組み項目	2020 年度実施内容			
③ 事業活動における取り組みを促進します				
事業活動における省エネの促進のための情報提供	◆ 東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページやECO まちだを通じて行いました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
まちだエコ宣言制度の推進	◆ 環境白書において、登録事業者の取り組み紹介を行いました。 ◆ 登録事業者と共同事業を行うことで、メリットを創出しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	◎
商店街街路灯のLED化推進	◆ 商店街に対し制度の周知を図りました。			
	関係課	産業政策課	評価	○
事業活動における再生可能エネルギーの導入、省エネ促進のための融資に係る利子の一部補助	◆ 制度内容について、パンフレットの配布や、市ホームページへの掲載により、周知を行いました。			
	関係課	産業政策課	評価	○

(3) 地球温暖化防止に貢献するまちづくりを進めます

取り組み項目		2020 年度実施内容		
① 町田市全体で取り組む、地球温暖化防止行動を進めます				
→重点事業3（歩道の透水性舗装の整備）P18参照				
町田市のエネルギー利用の現状や、地球温暖化に関する学習機会の提供	◆ 民間事業者と連携をし、小学校での出前講座を行うなど、小中学生を対象にした学習機会を提供しました。			
	◆ また、3月にはまちだサステナビリティフェスで水素体験コーナーを設置しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	◎
ライトダウン等節電意識向上のためのキャンペーンの実施	◆ 相模原市との連携や調整が順調に進み、事業をすすめることができました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
② 低公害車の普及促進等を図ります				
→重点事業4（路線バス利用環境整備）P19参照				
地域コミュニティバス等の運行	◆ 相原地区における新たな交通サービスの導入に向けたあり方方針を策定しました。			
	◆ 本町田地区、つくし野地区、高ヶ坂・成瀬地区においては、実証実験運行を見送り、アンケート調査や地域協議会との協議を継続実施しました。			
	関係課	交通事業推進課	評価	△
市が開催するイベント時の公共交通利用の推進	◆ イベント時、サポートされるボランティアの方などに向けて、公共交通機関の利用を呼びかけました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○

③ 低公害車の普及促進等を図ります				
→重点事業 5（水素ステーションの誘致） P19参照				
→重点事業 6（エコドライブの周知、普及・啓発の実施） P19参照				
次世代自動車等の低公害車の普及促進	電気自動車充電器の利用を促すとともに、燃料電池自動車の展示や、低公害車の仕組みについてのパネル展示、ホームページでのコンテンツ公開などにより、普及啓発を行いました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
低公害車〔天然ガス自動車・ハイブリッド車・電気自動車等〕の公用車としての導入検討・実施	燃費効率の良い公用車を 112 台導入しました。			
	関係課	市有財産活用課	評価	○
④ 自転車利用環境の整備を進めます				
自転車走行空間の検討・整備	- 自転車レーン設置工事を実施しました。（町田 95・749 号線） 320m - 次期自転車レーン設置箇所を警視庁協議しました。（町田 414 号線・町田 664 号線）			
	関係課	道路政策課	評価	○
	自転車レーン設置工事を実施しました。（町田 95 号線・749 号線） 320m			
	関係課	道路整備課	評価	○
自転車駐車場の整備	- 自転車駐車場を利用せずに、自転車移動ができるシェアサイクルや、駐輪場シェアサービスを活用して民間駐輪場の整備を推進しました。 - 老朽化した駐輪場の長寿命化、建替えなどを検討しました。			
	関係課	道路管理課	評価	○
市職員の近隣移動時の自転車利用の推進	自転車利用のメリットを盛り込んだ掲示を行い、省エネの周知を図りました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
	町田市職員安全運転ハンドブックを各課に配布し、近隣移動時は車を使用せず、自転車や徒歩で現地向かうよう啓発しました。			
	関係課	市有財産活用課	評価	○
⑤ 町田の農産物の地産地消を推進します				
学校給食での地場産農産物の利用推進	市内小学校に町田産農産物を納品して農業者に対し、補助を行いました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
まち☆ベジマップ（農産物直売所マップ）、まち☆ベジグルメ店などの配布による地産地消PR	「まち☆ベジ」ブランドのPRを図るため、新たに「まち☆ベジBOOK」を3月に発行しました。			
	関係課	農業振興課	評価	◎

(4) 二酸化炭素の吸収源として、みどりの確保を推進します

取り組み項目		2020 年度実施内容			
① 二酸化炭素吸収源を維持するため、緑地を保全します					
→重点事業 7（特別緑地保全地区等の指定拡大） P19参照					
市内緑地の適正な維持管理	◆ 現地調査や市民要望に応じて草刈や剪定等を行い市内の緑地を保全しました。				
	関係課	公園緑地課	評価	○	
街路樹の適正な維持管理	◆ 枯損等で欠損した植樹桝等に、計 1,044 株の低木を植栽し、連続した緑の確保を行いました。				
	関係課	道路維持課	評価	○	
② 二酸化炭素吸収量の増加を図るため、緑化を推進します					
緑化推進に関連した対策の検討	◆ 取り組んだ公共施設は47施設であり、団体向けに合計約 2,000 苗を配布しました。				
	関係課	環境・自然共生課	評価	○	
	◆ タウンミーティングや大学のゼミ等で街中の緑や郊外の緑について意見交換を行いました。				
	関係課	環境政策課	評価	◎	

基本目標 2

自然環境と歴史的文化的環境の保全

～水とみどりと生き物を守り育むまちづくり～

(1) みどりを守り、増やし、育て、活かす取り組みを進めます

取り組み項目		2020 年度実施内容		
① 緑地の現状を把握し、公表します				
市内公園緑地等の調査の実施	◆ 市内公園緑地等の調査及び取りまとめを行いました。			
	関係課	公園緑地課	評価	○
市域全体に対する緑地の割合の把握と公表	◆ 取り組みはありませんでした。			
	関係課	公園緑地課	評価	—
② みどりの保全を進めます				
→重点事業 8（都市計画公園の用地取得・整備） P20参照				
街路樹の適正な維持管理	◆ 街路樹の定期管理により、適切な大きさと枝葉量を保ちました。			
	関係課	道路維持課	評価	○
③ 身近なみどりを増やします				
街区公園の整備	◆ 相原町地内 1 件の基本・実施設計が完了しました。			
	関係課	公園緑地課	評価	○
民間の施設における緑化の制度や基準〔緑化基準等〕の導入検討	◆ 取り組みはありませんでした。			
	関係課	公園緑地課	評価	—
市庁舎の屋上緑化・壁面緑化	◆ 新型コロナの為、ボランティアの参加は出来ず、支援事業者だけで行いました。			
	関係課	市有財産活用課	評価	△
みどりのカーテン等の積極的な導入	◆ 取り組んだ公共施設は 47 施設であり、団体向けに合計約 2,000 苗を配布しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
④ 市民協働による緑地の保全、維持管理を進めます				
公園や施設等の緑について、公益的市民活動団体による維持管理の運用支援	◆ 新たに 10 団体が参加しました。			
	関係課	公園緑地課	評価	◎
伐採木、伐採竹の製品化等による利用促進	◆ 子ども向け里山の資源を利用した環境学習を実施しました。 ◆ 生きもの情報コーナーの書架の材料として、里山の伐採木を使用しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
⑤ 緑地を保全しながら活用し、ふれあいの場を確保します				
自然観察会の開催、里山整備活動を体験できる場の提供	◆ 忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりおりの植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催します。			
	関係課	公園緑地課	評価	○
	◆ 11 月に鶴見川源流保水の森において「ヤブカンゾウの苗植え体験」を実施しました。また、NPO 法人主催による植樹会や自然環境学習会を実施しました。			
	関係課	農業振興課	評価	△

(2) 水辺の保全・活用と水循環の健全化を進めます

取り組み項目		2020 年度実施内容			
① 水辺環境を保全します					
アダプト事業による高ヶ坂松葉調整池の維持管理作業の支援	◆ 樹木の剪定や調整池の浚渫を通じ、支援活動を行いました。				
	関係課	下水道管理課	評価	○	
② 湧水地の保全、地下水保全のため、水源涵養域の保全、雨水の浸透を図ります					
鶴見川・境川・恩田川等の水源涵養域にある樹林地等の保全	◆ 水源涵養域にある公園の樹林地について、下草刈や樹木剪定・伐採を行い適切に管理しました。				
	関係課	公園緑地課	評価	○	
道路の新設や改良工事における、歩道部の透水性舗装の実施	◆ 予定以上の透水性舗装を実施しました。実績値：1,473 m ²				
	関係課	道路整備課	評価	○	
宅地開発・中高層建築物の雨水貯留施設設置の指導及び個人住宅の雨水浸透設備設置補助事業の普及促進	◆ 雨水貯留施設について、中高層建築物に対し、2 件の指導を行いました。				
	◆ 雨水浸透設備設置補助事業について 4 件の補助を行いました。				
宅地開発業者に対する雨水浸透施設設置の指導	関係課	下水道管理課	評価	○	
	◆ 37 件の宅地開発事業に対して雨水浸透施設設置の指導をしました。				
東京都環境確保条例に基づく地下水の揚水量の把握、必要に応じた地下水利用者への指導	関係課	土地利用調整課	評価	○	
	◆ 全施設 124 件に対し報告するよう指導をし、84%の事業場から報告書が提出されました。				
湧水調査の継続、湧水地の保全	◆ 未報告事業場に対しても、報告するよう引き続き指導します。				
	◆ 設備の更新等があった際には適切な届出を提出するよう指導しました。				
市街化調整区域における特定土地利用行為に関する水循環の健全化	関係課	環境保全課	評価	○	
	◆ 継続してホームページに掲載しました。				
	◆ ○ごと大作戦の湧水調査に協力し、調査データを団体に提供しました。				
市街化調整区域における特定土地利用行為に関する水循環の健全化	関係課	環境・自然共生課	評価	○	
	◆ 取り組みはありません。				
	関係課	環境政策課	評価	—	
市街化調整区域における特定土地利用行為に関する水循環の健全化	◆ 2 件の市街化調整区域における特定土地利用行為に対して透水性舗装の指導をしました。				
	関係課	土地利用調整課	評価	◎	
③ 水辺の魅力の発信					
→重点事業 9（水辺の魅力の発信） P20参照					

(3) 生物多様性の保全を進めます

取り組み項目	2020 年度実施内容			
① 生物多様性に関する情報を発信します				
→重点事業 10（生物多様性情報拠点機能の構築・充実） P21参照				
生物多様性の確保や外来生物対策に関する市の方針、取り組み状況の発信、啓発活動の実施	- アプリを使った情報収集と、ホームページでの情報発信は通年で実施しました。 - 各種事業の周知コンテンツも公開しました。 - まちだ生きもの探しマップ等の配布を行いました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
自然観察会、学習会等の開催	忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりおりの植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催しました。			
	関係課	公園緑地課	評価	○
	11月に鶴見川源流保水の森において「ヤブカンゾウの苗植え体験」を実施しました。 - NPO 法人主催による植樹会や自然環境学習会を実施しました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
② 市内の生物の生育・生息状況を把握します				
市民協働による生きもの調査の実施	- アプリにより情報収集を行いました。（1,473 件） - 連動企画で、生きもの探しキャンペーン情報を収集しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	◎
③ 生物多様性保全の取り組みを推進します				
学校におけるビオトープの創出、活用	虫やメダカなどの水辺の生き物の観察・飼育を行い、学習の中で積極的に生かしました。			
	関係課	指導課	評価	○
熱回収施設等におけるビオトープの創出	東京都との協議に基づき、ビオトープ創出のため移設した希少動植物の保護を実施しました。			
	関係課	循環型施設整備課	評価	○
環境保全団体との協働による、生物の保全推進	12月にフォーラムを実施しました。ホームページでは団体の紹介を継続し、新規に掲載申し込みがありました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
	芹ヶ谷公園・上小山田みつやせせらぎ公園において生き物を取り巻く環境の整備を進めました。			
	関係課	公園緑地課	評価	○

取り組み項目	2020 年度実施内容			
NPO団体との協働による、貴重な生物の保全促進	鶴見川源流保水の森及び奈良ばい谷戸においてNPO 法人と協定を締結し、里山環境の保全や希少種モニタリング等を実施しました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
ビオトープ作庭イベントの開催	2校で実施しました。 - ホームページに授業の様子を掲載しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
④ 外来生物対策を進めます				
生態系や農業生産に被害を及ぼす外来生物の防除	- 増加傾向にある有害鳥獣の捕獲・殺処分の委託契約を行い、被害の減少を図りました。 - 電気柵を用いた効果的な防除方法の検証を行いました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
外来生物の適正な飼育・管理の普及啓発	- 今年度も事業は引き続き実施しました。 9月に町内会自治会掲示板にチラシを掲示、1月に広報まちだに掲載。3月に情報冊子を作成しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○

(4) 谷戸の環境と農地・農業を守ります

取り組み項目	2020 年度実施内容			
① 谷戸の環境を保全し、活用します				
→重点事業 11（北部丘陵の整備） P21参照				
樹林地の管理による里山の適正な更新	◆ 緑地やふるさとの森について、現地調査や要望に基づき、樹木の更新作業を実施しました。			
	関係課	公園緑地課	評価	○
東京都への緑地里山保全地域指定の要請	◆ 三輪地区について、「令和3年度東京都予算編成に対する市長会要望」の中へ、都へ要請を行いました。（2020 年 4 月）			
	関係課	公園緑地課	評価	○
市民を対象とした自然環境学習会による谷戸環境の再生管理	◆ 取り組みはありませんでした。			
	関係課	公園緑地課	評価	—
自然環境学習会や市民協働による谷戸環境の再生管理	◆ 奈良ばい谷戸において、地域の伝統農法による谷戸環境の再生や散策路の管理を行いました。			
	関係課	農業振興課	評価	△

取り組み項目	2020 年度実施内容			
--------	-------------	--	--	--

② 多面的機能を有する農地を保全するため、農業支援を進めます				
→重点事業 12（遊休農地のあっせん） P22参照				
農産物直売所の開設支援	「まち☆ベジ」ブランドのPRを図るため、新たに「まち☆ベジBOOK」を3月に発行した。			
	関係課	農業振興課	評価	◎
市街化調整地域の耕作放棄地の解消	2021年1月にバンク公開を行い、2021年4月1日付けの新規農地あっせんが2件（4,435.8㎡）成立しました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
援農ボランティアの育成を行う市内NPO法人に対する事業支援	援農ボランティアを育成する団体に、育成に係る経費に対して補助金を交付しました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
農業研修事業の実施	第10期生9名が、2年間の農業研修を修了しました。修了生全員が農業に携わるための進路を希望しています。			
	関係課	農業振興課	評価	○
③ 環境保全型農業に取り組む農業者の育成を進めます				
環境保全型農業に取り組む農業者の支援・拡大	エコ農産物認証取得者およびエコファーマーに対して補助率を上げて堆肥流通促進事業補助金を交付しました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
④ 市民が農業とふれあえる機会を提供します				
市民農園、体験農園の開設・運営支援	市内3園の市民農園について管理運営を行いました。体験農園について、利用者募集の広報等の支援を行いました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
農業体験機会の提供	農の魅力を伝えるため、野菜の収穫や農機具体験、料理教室等の農に触れ合えるイベントを計11回開催しました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
	休校期間があったため、栽培の開始は例年より遅れましたが、野菜作りを通して、作る楽しさや苦労を感じ、食材に対する考えを見直すことができました。			
米作り体験農業の実施	関係課	指導課	評価	○
	関係課	農業委員会	評価	○

取り組み項目	2020 年度実施内容			
⑤ 町田の農産物の地産地消を進めます				
学校給食での地場産農産物の利用 推進	◆ 市内小学校に町田産農産物を納品して農業者に対し、補助を行いました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
まち☆ベジマップ（農産物直売所 マップ）、まち☆ベジグルメ店な びの配布による地産地消PR	◆ 「まち☆ベジ」ブランドのPRを図るため、新たに「まち☆ベジ BOOK」を3月に発行しました。			
	関係課	農業振興課	評価	◎

（５）歴史的文化的環境を守ります

取り組み項目	2020 年度実施内容			
① 歴史的文化的環境を保全します				
国・都・市指定史跡・有形文化財の整備事業の実施	♦ 八幡平遺跡の整備工事と牢場遺跡の実施設計を実施しました。			
	関係課	生涯学習総務課	評価	○
文化財保護の一環として国・都・市指定史跡・有形文化財の広報活動の実施	♦ コロナの影響により、各イベントがいずれも縮小または中止となりました。			
	関係課	生涯学習総務課	評価	×
② 自然や歴史・文化とのふれあいを進めます				
→重点事業 13（観光交流拠点を活用したイベントの実施） P22参照				
フットパスの普及促進	♦ 小野路宿里山交流館では 秋の小野路歴史ガイドウォーク、北部丘陵の歴史&自然を学ぶガイドウォークツアーを実施しました。			
	♦ 町田市観光コンベンション協会では原町田七福神ツアーを実施しました。			
	関係課	観光まちづくり課	評価	○
自然観察会の開催	♦ 忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりおりの植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催します。			
	関係課	公園緑地課	評価	○

基本目標 3

持続可能な循環型社会の構築

～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

(1) ごみの減量・資源化に対する意識の向上を図り、取り組みを促します

取り組み項目	2020 年度実施内容			
① 3 Rについて普及啓発を進め、排出抑制を促します				
→重点事業 14（情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用） P23参照				
ごみの減量を意識づけるためのホームページ等の充実	◆ ホームページの他にも新たに Instagram・Twitter などの SNS や YouTube チャンネルを開設して、幅広い世代の市民にレジ袋有料化・食品ロス削減など旬の話題を発信しました。			
	関係課	3 R推進課	評価	◎
広報紙による啓発	◆ 新型コロナウイルス感染症の影響で、発行回数を年3回としました。			
	関係課	環境政策課	評価	△
	◆ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、取材が困難な中、おひさま共同保育園のごみ減量の取り組みを取り上げました。			
	◆ 家庭用生ごみ処理機のPRも行いました。			
関係課	3 R推進課	評価	○	
② ごみの減量、分別排出の徹底に関する市民の学習の機会を提供します				
→重点事業 15（ごみ減量に関する出前講座の充実） P23参照				
ごみ減量に関する体験型学習機会の充実	◆ ごみ減量や分別による資源化についての講座の中で、受講した市民が、テキストで使用した3 Rマップを地域内での情報共有に活用につながる事を意識した講座を行いました。			
	関係課	3 R推進課	評価	○
剪定枝資源化センター、リレーセンターみなみ等の見学機会の充実	◆ 剪定枝資源化センターが 1 件、リレーセンターみなみには 2 件の清掃工場関係者の視察がありました。			
	◆ 新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、市民からの視察はありませんでした。			
関係課	資源循環課	評価	△	
③ 市民・市民団体・事業者との協働によるごみ減量の啓発活動を進めます				
ごみ減量サポーター（廃棄物減量等推進員）との地域活動の促進	◆ ごみ減量サポーターを対象とした研修会を 11 月に 3 か所の会場で開催しました。			
	関係課	3 R推進課	評価	△
市民・市民団体・事業者と協働し、その活動を支援	◆ コロナ禍で協働できる機会は減ったが、南地域子育てセンター、町田マルイなどと連携してごみ減量啓発を行いました。			
	◆ また、新たに3 R市民リーダー育成事業を NPO 法人与連携して実施しました。			
関係課	3 R推進課	評価	○	

(2) ごみの発生抑制・再使用を進めます

取り組み項目		2020 年度実施内容		
① 家庭におけるごみの減量・発生抑制を促進します				
→重点事業 16（食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施） P23参照				
有料指定収集袋利用制度の継続	◆ 新型コロナウイルス感染症まん延による巣ごもり需要で、一時的に袋の販売量が増加しましたが、在庫管理を徹底し安定供給を行うことができました。			
	関係課	3 R 推進課	評価	○
回収した粗大ごみの修理、販売	◆ （一財）まちだエコライフ推進公社と「粗大ごみ等の有効利用に関する協定」を締結し、協定に基づき提供した粗大ごみ等を同公社が修理・再生し、販売しました。			
	関係課	3 R 推進課	評価	○
② 事業系ごみの減量を促進します				
→重点事業 17（事業所向けの情報提供の実施） P24参照				
事業系ごみの適正排出のための、事業者への丁寧できめ細かな情報提供と発信	◆ 大規模事業所に対する電話での指導や説明会などで、157件の事業所・事業者に対して指導を行いました。			
	◆ まちだ3R賞については、2件の申請があり、審査の結果、1事業所を表彰しました。			
	関係課	3 R 推進課	評価	○
事業者と連携した食品ロスの啓発活動の推進	◆ 新型コロナウイルス感染防止のため、適正排出に向けた有用な情報提供が出来ませんでしたが、電話にて調査・指導・現状確認等を行いました。			
	◆ 3月に書面開催による許可業者講習会を行いました。			
	関係課	資源循環課	評価	△
事業者と連携した食品ロスの啓発活動の推進	◆ 「まちだ☆おいしい食べきり協力店」はデニーズ2店舗が登録（1店舗閉店のため削除）。			
	◆ 「まちだ☆おいしい食べきりキャンペーン」、「今が食べごろめしあがれキャンペーン」は共に新型コロナウイルスの影響で外食ではなく自宅での食事を中心に実施。			
	◆ 「まちだ☆おいしい食べきりキャンペーン」は新たにまちっこバスにも掲示。			
関係課	3 R 推進課	評価	◎	
③ 市内イベントでのごみの発生抑制の取り組みを推進します				
市内でのイベント開催時におけるリユース食器の利用促進など、ごみの出ないイベント開催の支援	◆ 多くのイベントが開催自粛となったことから、PRは見送りました。			
	関係課	3 R 推進課	評価	×
各種イベントでの「ごみ減量キャンペーン」の実施	◆ 感染拡大防止のため、市民と対面が中心となる事業の実施は見送った。			
	関係課	3 R 推進課	評価	×

(3) ごみの資源化を進めます

取り組み項目		2020 年度実施内容			
① 生ごみの資源化を図ります					
→重点事業 18（生ごみ処理機の導入促進） P24参照					
ダンボールコンポスト等の利用方法や生成物の使い方講座の開催	市民主導の講習会開催への働きかけはできなかったが、2021 年度からの販売や講習会開催について、まちだエコライフ推進公社と調整を行いました。				
	関係課	3 R 推進課	評価	○	
② プラスチックの資源化を図ります					
容器包装プラスチックの市内全域での資源化に向けた検証及び準備	新型コロナウイルス感染症の影響で多くの地域イベント等が中止になったことから、周知活動ができませんでした。				
	関係課	3 R 推進課	評価	×	
搬入された製品プラスチックの資源化	プラスチックの情勢悪化のため、新規事業者の開拓はできませんでした。				
	現行業者は主に国内循環をしているため、海外の影響は大きく受けておらず、安定的に処理が来ています。				
関係課	資源循環課	評価	○		
③ 生活や社会活動から発生するごみの資源化を図ります					
剪定枝の資源化・有効利用の推進	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等への出展は行わず、花壇コンクールでの P R 展示を行いました。				
	搬入量・処理量・資源化量はほぼ横ばい状態です。				
関係課	資源循環課	評価	△		
「リサイクル広場まちだ」での回収品目追加の検討	歯ブラシ等の資源化について情報収集し、追加可能性について検討しました。				
	関係課	3 R 推進課	評価	△	
地域住民主体で運営する地域リサイクル広場の拡大	ごみ減量サポーター向けに、地域リサイクル広場開催の P R を行いました。				
	関係課	3 R 推進課	評価	△	
搬入廃棄物の分別による再資源化の促進	今年度新たな資源化物の開拓には至りませんでしたが、搬入廃棄物については、年間を通して資源化をしています。				
	関係課	資源循環課	評価	○	
事業所の紙ごみリサイクルの促進	事業者が紙ごみのリサイクルをしやすくなるよう、市ホームページに掲載されている古紙問屋・古紙回収業者一覧のデータについて改めて情報収集を行い、修正を行いました。				
	関係課	3 R 推進課	評価	△	
家庭からでる雑紙の資源化促進	町田市指定収集袋（燃やせるごみ専用袋）に雑がみの分別を促す 4 コマ漫画を掲載したほか、市民税納税通知書送付用封筒等の市から発信する通知物の封筒に雑がみ資源化に関する啓発文を掲載しました。				
	雑がみ資源化の啓発を動画で配信しました。				
関係課	3 R 推進課	評価	○		

(4) ごみの適正な排出処理を進めます

取り組み項目		2020 年度実施内容			
① ごみ排出ルールの周知徹底等の普及啓発を進め、適正な排出を促します					
ごみの出し方・分別等の情報を発信するホームページ等の充実	◆ コンテンツ評価等市民からの意見を基に、17 件（2021 年 1 月末時点）ホームページを修正しました。				
	関係課	3 R 推進課	評価	○	
広報紙による啓発	◆ 「資源とごみの収集カレンダー」及び「資源とごみの出し方ガイド」について、記載方法等について見直しを行いました。 ◆ ECO まちだの発行時期に合わせ、タイムリーな記事を掲載しました。				
	関係課	3 R 推進課	評価	○	
集合住宅の管理会社等への、ごみの出し方や減量に関する説明会の実施	◆ 20 件（2021.1 月末現在）の集合住宅に対して、集積所・ごみ置き場への啓発看板設置や管理会社への適正排出に関する説明を行いました。				
	関係課	3 R 推進課	評価	○	
「ルールブック」を活用した、事業系ごみの適正排出のための啓発	◆ ルールブックを分かりやすく見やすいものに改訂するとともに、ページ数も 4 ページ増やして総ページ数 12 ページとして、1,900 部作成しました。				
	関係課	3 R 推進課	評価	○	
事業系ごみ搬入物検査機による、ごみの適正排出に関する指導の徹底	◆ 新型コロナウイルス感染防止のため、検査機による内容物検査に代えて、搬入ピットでの目視・聞取り検査を 150 件実施しました。 ◆ 聞き取った情報をもとに許可業者や排出事業者で電話で調査・指導を行いました。				
	関係課	資源循環課	評価	△	
② 適切なごみ収集と運搬の効率化を図ります					
→重点事業 19（ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討） P24参照					
収集車両の適正配置によるごみ収集・運搬の効率化	◆ 今年度は収集体制の見直しにより収集車を 3 台減車して適正配置を行いました。 ◆ 使用年数が長い車両が多いため 55 件の修理が発生しました。早期に異常を把握し予防のための点検・整備に重点を置きました。				
	関係課	3 R 推進課	評価	○	
ごみの収集車両として天然ガス車、ハイブリッド車等の導入推進	◆ 今年度の導入はありませんでしたが、環境に配慮した車両の導入を推進する考え方は継続していきます。				
	関係課	3 R 推進課	評価	△	
③ 安全で適切なごみ処理を行います					
ごみの適正処理に関する情報の案内、配布物等による情報提供	◆ 排ガス測定結果等の必要な情報を適宜更新しました。 ◆ HP へのご意見や問い合わせを参考に HP を更新しました。				
	関係課	資源循環課	評価	○	

④ 焼却灰等の有効利用を継続します				
清掃工場で発生した焼却灰等のエコセメント化による資源化	東京たま広域資源循環組合エコセメント化施設にて、焼却灰等のエコセメント化を行いました。			
	関係課	資源循環課	評価	○
下水処理場の汚泥焼却灰、沈砂の建設資材等としての再資源化	下水処理場から発生する全ての産業廃棄物（汚泥焼却灰や沈砂汚泥など）について 99.5%の再資源化率を達成しました。			
	関係課	水再生センター	評価	○
⑤ ごみの資源化施設の整備を進めます				
→重点事業 20（熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）の整備） P25参照				
→重点事業 21（資源ごみ処理施設の整備） P25参照				

基本目標 4

良好な生活環境の創造

～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

(1) 大気汚染の防止に努めます

取り組み項目		2020 年度実施内容		
① 大気汚染状況を監視し、市民へ公表します				
市内の大気環境の把握〔常時監視（都）、沿道大気調査（市）〕	◆ 主要幹線道路交差点等における大気調査を 12 月に 6 地点で行いました。			
	◆ ダイオキシン類等分析調査を 3 地点で 8 月と 2 月に行いました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
大気調査結果や大気汚染情報等の収集及び周知・提供	◆ 2019 年度に実施した大気調査結果は、6 月にホームページで公表しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
光化学スモッグ注意報等発令時の周知	◆ 東京都メール配信への登録について、環境広報紙、ホームページ及び町田市メール配信サービスにて情報提供を行いました。			
	◆ 学校情報・注意報等が発令された際にはすみやかに関係機関へ情報提供を行いました。（2020 年度の注意報の発令回数は 1 件でした）			
	関係課	環境保全課	評価	○
② 事業活動での大気汚染物質の発生を抑制します				
大気汚染について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	◆ 工場等設置時に届出がある場合は、届出内容を確認し、必要に応じて事業者に指導を行いました。違反事業者に対しては、現地確認し、改善の指導をしました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
野外焼却防止のための事前指導や広報等による啓発	◆ 環境広報紙（秋号）に野焼きに関する記事を掲載し、野外焼却防止を啓発しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
③ 自動車利用を控え、公共交通利用を進めます【再掲（1-〔3〕-②）】				
路線バスの利用環境整備	◆ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりバス事業者及び市の財政が厳しい状況におかれたことを鑑み、両者で協議した結果、バス停へのベンチ等の設置を見送りました。			
	関係課	交通事業推進課	評価	×
地域コミュニティバス等の運行	◆ 相原地区における新たな交通サービスの導入に向けたあり方方針を策定しました。			
	◆ 本町田地区、つくし野地区、高ヶ坂・成瀬地区においては、実証実験運行を見送り、アンケート調査や地域協議会との協議を継続実施します。			
	関係課	交通事業推進課	評価	△
市が開催するイベント時の公共交通利用の推進	◆ イベント時、サポートされるボランティアの方などに向けて、公共交通機関の利用を呼びかけました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○

④ 低公害車の普及促進等を図ります【再掲（１－（３）－③）】				
次世代自動車等の低公害車の普及促進	電気自動車充電器の利用を促すとともに、燃料電池自動車の展示や、低公害車の仕組みについてのパネル展示、ホームページでのコンテンツ公開などにより、普及啓発を行いました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
水素ステーションの誘致	水素ステーション誘致に至りませんでした。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	△
エコドライブの周知、普及・啓発	エコドライブステッカーを作成し、市民に広く周知を行いました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	◎
低公害車[天然ガス自動車・ハイブリッド車・電気自動車等]の公用車としての導入検討・実施	燃費効率の良い公用車を 112 台導入しました。			
	関係課	市有財産活用課	評価	○
⑤ 自動車利用環境の整備を進めます【再掲（１－（３）－④）】				
→重点事業 22（自転車利用環境の整備） P26参照				
自転車駐車場の整備	- 自転車駐車場を利用せずに、自転車移動ができるシェアサイクルや、駐輪場シェアサービスを活用して民間駐輪場の整備を推進しました。 - 老朽化した駐輪場の長寿命化、建替えなどを検討しました。			
	関係課	道路管理課	評価	○
市職員の近隣移動時の自転車利用の推進	自転車利用のメリットを盛り込んだ掲示を行い、省エネの周知を図りました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
	町田市職員安全運転ハンドブックを各課に配布し、近隣移動時は車を使用せず、自転車や徒歩で現地に向かうよう啓発しました。			
	関係課	市有財産活用課	評価	◎

(2) 良好な水質の確保に努めます

取り組み項目		2020 年度実施内容			
① 汚水管の整備と合併処理浄化槽の普及による適正な污水处理対策を進めます					
→重点事業 23（下水道未整備箇所の汚水管整備の推進） P26参照					
② 河川へ放流する下水処理水の水質向上を図ります					
→重点事業 24（下水処理水の水質向上） P26参照					
③ 水質汚濁物質の排出抑制のため、市民・事業者への働きかけを推進します					
水質汚濁について、河川等へ直接排水を行う事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	◆ 公共用水域に直接汚水を排水している 30 事業場に対し、排水の水質検査を実施しました。基準の超過がみられたときは、原因究明及び対策の指導をしました。				
	関係課	環境保全課	評価	○	
下水道法に基づく、下水道に排水を行う事業者への調査や指導の実施	◆ 予定通り、聞き取り調査を 76 件実施し、「下水道法に基づく届出」及び「適正な水質管理」について指導を行いました。				
	◆ 一方で、新型コロナウイルス感染症による影響で、病院等に対する排水検査を述べ 13 件中止しました。このため、今年度は、延べ 31 件の水質検査を実施し、すべての結果が基準に適合していることを確認しました。				
特定施設未届事業場の発見と、届出の指導の実施	関係課	水再生センター	評価	△	
	◆ 環境保全課と情報を共有するとともに、特定事業場未届事業場の発見と特定施設の届出指導を行いました。				
特定施設未届事業場の発見と、届出の指導の実施	関係課	下水道管理課	評価	○	
	◆ 下水道部に提出されている事業場の届出状況や住宅地図の情報などを確認し、未届であることが発覚した場合には届出指導を行いました。				
規制対象外事業者へのグリース阻集器等の管理に関する啓発	関係課	環境保全課	評価	○	
	◆ ホームページ等を利用し、排水設備の適正管理の啓発活動を行いました。				
地下水汚染について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	◆ また市内飲食店 78 店舗に対して、グリース阻集器の維持管理について啓発・指導を行いました。				
	関係課	下水道管理課	評価	○	
土壌や地下水汚染の防止のため、農薬や施肥の適正量の利用及び低減に向けた啓発の実施	◆ 新規設置事業者からの届出時に構造基準の遵守義務や定期点検の実施義務を指導しました。				
	関係課	環境保全課	評価	○	
下水接続の普及促進	◆ エコ農産物認証取得者およびエコファーマーに対して補助率を上げて堆肥流通促進事業補助金を交付しました。				
	関係課	農業振興課	評価	○	
下水接続の普及促進	◆ エコ農産物認証取得者およびエコファーマーに対して補助率を上げて堆肥流通促進事業補助金を交付しました。				
	関係課	下水道整備課	評価	○	

取り組み項目	2020 年度実施内容			
河川の水質事故防止のための広報等による啓発	公共用水域に排水している事業場に対し、処理施設の維持管理などについて注意喚起をするための文書を送付しました。また市民向けとして、ECO まちだに河川事故防止を啓発する記事を掲載しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
下水道の正しい使い方の指導	新型コロナウイルスによるイベントの中止等により、啓発活動は行えませんでした。			
	関係課	下水道管理課	評価	×
下水処理場への市民等の施設見学受け入れ	新型コロナウイルス感染症の関係で、両処理場ともに施設見学を中止しているため、見学件数 0 件となった。			
	関係課	水再生センター	評価	×
④ 市内の主要河川等において、定期的な水質調査を実施します				
主要河川である鶴見川、境川、恩田川等の河川調査の実施とホームページ等での調査結果の公表	河川調査は予定通り月 1 回実施しました。調査結果についてはまとめ次第、ホームページで公表する予定です。			
	関係課	環境保全課	評価	○

(3) 誰もが安心して快適に暮らせる環境の実現を図ります

取り組み項目	2020 年度実施内容			
① 有害化学物質等の適正管理・処理の指導を進めます				
→重点事業 25（有害化学物質の適正管理・処理の指導） P27参照				
事業者が自ら化学物質の適正な管理を行えるよう届出の指導	◆ 適正管理化学物質取扱事業者に対して、化学物質使用量報告書の提出および化学物質管理方法書の作成を指導しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
既存建物の解体時におけるアスベスト使用調査・届出・適正処理の指導	◆ アスベスト使用建築物の解体等工事では、事前相談や届出について適切に指導することができました。			
	◆ 年2回の建設リサイクル法に関する一斉パトロールのほか、東京都から依頼のあったパトロール、また環境保全課による独自のパトロールも実施し、看板の掲示などに不備があった場合には指導しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
	◆ 適切にアスベストや資源が分類されるよう、パトロールによる指導を行いました。			
	関係課	建築開発審査課	評価	○

取り組み項目	2020 年度実施内容			
② 悪臭の発生防止に努めます				
悪臭について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び、悪臭を発生させた事業者への指導	- 工場設置認可申請等を受ける際には、あらかじめ悪臭が発生しない作業工程や設備の導入をするよう指導しました。 - また、悪臭を発生させてしまった事業所等に対しては、原因を究明したうえで、作業工程を変更するなど再発防止対策を講ずるよう指導しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
清掃工場における、臭気測定の実施及び設備の適正管理による臭気の発生抑制対策の実施	清掃工場内で発生した臭気は焼却炉で燃焼することにより低減させるとともに、脱臭装置の運用を適正に行ったことで、清掃工場の敷地境界線地表における臭気指数の測定結果は規制基準値に適合していました（測定値：10 未満）。			
	関係課	資源循環課	評価	○
農業者に対する畜舎清掃や畜糞の適正処理方法、施肥の適正な使用方法の周知等、臭気発生抑制の指導	- 畜舎の衛生管理に必要な経費に対する補助を行いました。 - また、関係機関と協力しながら施設の適切な使用について意見交換を行いました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
③ 自動車や、事業活動による騒音・振動問題への取り組みを進めます				
主要幹線道路における自動車騒音調査の実施	- 自動車騒音常時監視・面的評価については 8 ヶ所委託にて実施しました。 - また市内幹線道路の自動車騒音測定（要請限度）についても 3 ヶ所直営にて実施しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
騒音・振動について、工場等を設置する事業者や工事を行う事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	工場設置認可申請等や事前協議、特定建設作業実施届を受ける際には、騒音や振動の発生に注意し、近隣へ配慮するよう指導しました（2020 年度は事前協議 131 件、特定建設作業 144 件の申請がありました）。			
	関係課	環境保全課	評価	○
④ 航空機騒音の軽減のための取り組みを進めます				
国及び米軍に対し、NLP や早朝・夜間・土日祝日の飛行の中止・制限等を要請	国及び米軍に対し、空母艦載機着陸訓練を硫黄島で全面実施すること、恒常的訓練施設を確保すること、厚木基地の運用、騒音状況等についての情報提供を行うことを厚木基地騒音対策協議会で要請しました。			
	関係課	企画政策課	評価	○
航空機騒音の常時測定〔市内5箇所〕と測定結果の広報	- 航空機騒音常時測定（市内 5 箇所）を引き続き実施しました。 - 航空機騒音について、市が測定した結果を広報やホームページで公表し、航空機騒音による苦情件数とともに速やかに関係機関に報告しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○

⑤ その他の問題の対策を考え、安心して快適な環境の実現を図っていきます				
建築物等を建設する事業者に対する電波障害の事前調査や対策の指導	- 中高層建築物を建築する際の事前協議において、10m以上の建築物の場合は、テレビの受信障害調査を実施し、その報告書の提出を指導しました。 - 建築中または建築後に受信障害が発生した場合は、速やかに対応するよう指導しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
電波障害及び受信障害の相談、情報提供	テレビ受信障害調査報告書に基づいた障害予測地域の情報提供を行いました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
事業者に対する屋外照明、駐車場で の車両照明等の配慮など光害未然防止の指導	工場等設置届出時及び中高層建築物を建築する際の事前協議、大規模小売店舗立地法に伴う事前協議において、屋外照明や車両の灯火による光害防止対策を講ずるよう指導しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
街路灯への遮光板の取り付け	市民要望により遮光板を3ヵ所取付けました。			
	関係課	道路維持課	評価	○
監視・指導による土砂の不法投棄の防止と早期発見	パトロールを強化し早期発見に努めました。			
	関係課	建築開発審査課	評価	○
近隣騒音などのトラブル防止のためのマナー啓発	生活騒音についての啓発記事をホームページに掲載しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
市民の生活環境の保全のための空き家対策の推進	- 管理不全空家の所有者に対し、文書による意識啓発や、現地調査に基づく情報提供を実施しました。 - 結果、管理不全空家を54件改善(うち1件は特に対応が必要な特定空家等を解消)できました。			
	関係課	住宅課	評価	◎

(4) 美しいまち並みづくりを進めます

取り組み項目	2020 年度実施内容			
① 地域が主体となった良好な景観づくりを進めます				
→重点事業 26（生活風景宣言等による良好な景観づくり） P27参照				
景観づくりの基準となるガイドラインの整備	♦ 2017 年度に達成済みです。			
	関係課	地区街づくり課	評価	—
景観づくりセミナーの実施	♦ 今年度は新型コロナウイルスの影響により、生活風景宣言のイベントを見送りましたが、相模原市と共催し、両市の図書館で景観特集コーナーを設け、景観づくりに関する情報発信を行いました。			
	関係課	地区街づくり課	評価	○

取り組み項目	2020 年度実施内容			
景観づくり市民サポーターによる啓発活動の実施	◆ 2017 年度に終了しました。			
	関係課	地区街づくり課	評価	—
② 快適な道路環境づくりを進めます				
市内各駅における放置自転車対策の実施	◆ 午前（通勤・通学）午後（買い物）対策に加えて、夜間に対する対策を強化しました。また、効果的な放置防止に関する啓発方法を検討しました。			
	関係課	道路管理課	評価	◎
学校や地域での自転車や二輪車のマナー啓発	◆ 市立小学校 40 校（2 校は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止）と、市立中学校 6 校を対象に、「自転車教室」を開催しました。 ◆ 警察と連携し、街頭で自転車利用者に対して、啓発チラシの入ったティッシュ等を配りながら安全運転を呼び掛けるキャンペーン活動を行いました。 ◆ 9 月に、二輪車の運転者に対して「二輪車安全運転教室」を開催しました。 ◆ 自宅などで手軽に交通マナーを学べる動画「おうちで交通安全」を作成しました。動画は、町田市ホームページに掲載するとともに、動画を収録した DVD を市内全中学校と希望のあった町内会・自治会に配布しました。			
	関係課	市民生活安全課	評価	◎
都市計画道路、市街地道路での無電柱化工事の実施	◆ 無電柱化に向け、交通管理者や地域の方々と地上機的位置などについて検討しました。 ◆ 今後も引き続き、関係機関と調整を進めます。			
	関係課	道路整備課	評価	○
市民ボランティア団体による道路の美化活動の推進 [アダプト・ア・ロード事業]	◆ 新規団体の登録・活動支援、既存団体の活動 PR を行いました。 ◆ 道路に愛着を持ち、市民ボランティア団体が増えるように、「道路愛護運動みちピカ町田」を PR する活動を行いました。			
	関係課	道路管理課	評価	○
③ ごみの不法投棄、ポイ捨ての防止に努めます				
統一美化キャンペーンの PR	◆ 新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、2020 年度は実施を取りやめました。			
	関係課	環境保全課	評価	×
美化推進重点区域（あきかん、吸い殻等のポイ捨て防止区域）の指定及び運用	◆ 新たな美化推進重点区域の指定について、3 地域の方々と話し合いを行いました。			
	関係課	環境保全課	評価	△

取り組み項目	2020 年度実施内容			
道路等喫煙禁止区域（路上喫煙禁止区域、喫煙スポット）の指定及び運用	新たな道路等喫煙禁止区域の指定について、3 地域の方々と話し合いを行いました。			
	関係課	環境保全課	評価	△
あき地の所有者への雑草除去指導	雑草が繁茂しているあき地の所有者（対象者）に対し、雑草除去をお願いする通知を行いました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
不法投棄監視カメラの有効利用及び、パトロールによる再発防止対策の実施	- 監視カメラ 2 台を新規で設置しました。 - パトロールは、不法投棄重点地区を中心に昼夜合わせて年間 144 回実施しました。			
	関係課	3 R 推進課	評価	○
土地所有者等との協働による、不法投棄再発防止対策の検討・実施	不法投棄発生場所に啓発看板を設置（19 件、28 枚）し、不法投棄防止策及び再発防止策を提案しました。			
	関係課	3 R 推進課	評価	○

基本目標 5

環境に配慮した生活スタイルの定着 ～学び・協働で進めるまちづくり～

(1) 次世代を担う子どもの環境学習を進めます

取り組み項目		2020 年度実施内容			
① 学校における環境教育の充実を図ります					
→重点事業 27（環境副読本を活用した環境学習の実施） P28参照					
各教科等における指導、環境学習、農業体験、自然体験の実施	◆ 5年生の米の栽培は多くの学校で取り組まれた。ビオトープのある学校においては、整備や学習での利用を予定通り行いました。				
	関係課	指導課	評価	○	
ボランティアコーディネーター等を活用した環境教育の実施	◆ 地域人材を活用し、学校が保有する雑木林の管理や、植樹、地域環境の保全活動を行った学校がありました。また校庭の木に巣箱を設置した学校がありました。				
	関係課	指導課	評価	○	
出前講座を活用した児童・生徒、保護者への環境教育の実施	◆ 児童・生徒には帰宅後保護者にも講座内容を伝えるよう促し、このことをきっかけに家庭でごみについて話してもらう機会を作る等、保護者に対してもごみ減量啓発を行う仕掛けを行いました。また、リモートなどコロナ禍の合わせた手法を取り入れました。				
	◆ SDGs などの環境全般にわたるものも内容に取り入れ、子どもたちやその保護者たちがごみ減量などに取り組むためのきっかけづくりをしました。				
関係課	3R推進課	評価	◎		
② 子どもの環境学習・体験学習を進めます					
→重点事業 28（子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施） P28参照					
こどもエコクラブの設立促進と活動の継続支援	◆ エコクラブ事務局より発送されるチラシ・ポスター等を掲示・配布することで、こどもエコクラブの設立促進・活動の継続支援を行いました。				
	関係課	環境・自然共生課	評価	○	
③ 環境教育情報の収集・提供を図ります					
出前講座や大学が提供する環境教育の取り組み等、既存の環境教育プログラム情報の収集、提供	◆ ビオトープの出前授業を実施しました。				
	関係課	環境・自然共生課	評価	○	

(2) 市民・事業者の環境学習・保全活動を推進します

取り組み項目		2020 年度実施内容		
① 市民の環境学習や環境保全活動に参加する機会の充実を図ります				
環境に関する学習機会の提供	◆ まちだ市民大学 HATS 環境学講座を前期は 8 回予定していましたが、コロナ禍のためすべて中止となりました。後期は 9 回実施しました。受講生の 90%以上が講座終了後も引き続きエコ活動に取り組む意欲を示しており、環境問題への関心を高めることができました。			
	関係課	生涯学習センター	評価	△
	◆ 市民等を対象とした環境をテーマとしたイベントを開催し、環境学習の機会を提供しました。			
	関係課	市民協働推進課	評価	○
	◆ 里山環境学習を実施。コロナの影響が長期化することを見越して、動画を作成しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
ライトダウン等節電意識向上のためのキャンペーンの開催を通じた啓発	◆ 相模原市との連携や調整が順調に進み、事業をすすめることができました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
まちづくりの検討の場での環境配慮の視点の啓発	◆ 今年度は新型コロナウイルスの影響により、生活風景宣言のイベントを見送りましたが、相模原市と共催し、両市の図書館で景観特集コーナーを設け、景観づくりに関する情報発信を行いました。			
	関係課	地区街づくり課	評価	○
生物多様性にかかわる多様な主体の交流の場づくり	◆ 町田生きもの共生フォーラムを開催しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
② 事業者の環境配慮への取り組みや環境保全活動を支援します				
中小企業が行う環境に配慮した整備への改修等に必要な資金調達への支援	◆ 制度内容について、パンフレットの配布や、市ホームページへの掲載により、周知を行いました。			
	関係課	産業政策課	評価	○
事業者の環境保全活動の支援	◆ 環境白書において、登録事業者の取り組み紹介を行いました。			
	◆ 登録事業者と共同事業を行うことで、メリットを創出しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	◎
	◆ 環境保全活動に取り組む事業者にインタビューを行い、「町田市環境白書 2020」で紹介しました。			
	関係課	環境政策課	評価	○

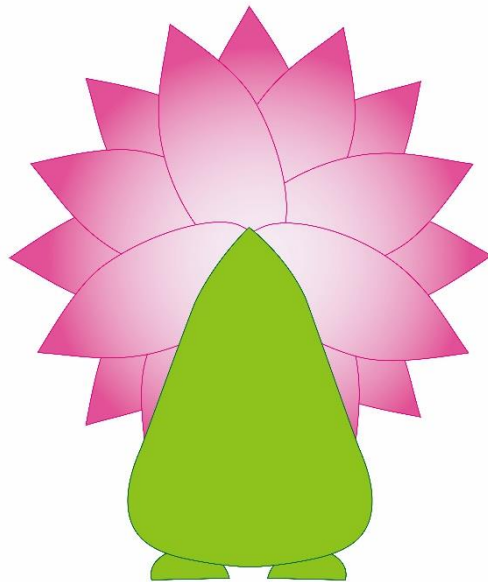
取り組み項目	2020 年度実施内容			
公益的市民活動への事業者参加の促進	地元事業者と連携して公園清掃を実施しました。			
	関係課	公園緑地課	評価	○
里山における事業者の環境保全活動の場を提供する仕組みづくり	鶴見川源流保水の森及び奈良ばい谷戸においてNPO 法人与協定を締結し、里山環境の保全や希少種モニタリング等を実施しました。			
	関係課	農業振興課	評価	○
③ 環境に配慮した事業者を認定する制度をつくります				
→重点事業 29（まちだエコ宣言制度の推進） P28参照				

（３）環境学習・保全活動の基盤づくりや協働の仕組みづくりを進めます

取り組み項目	2020 年度実施内容			
① 環境に関する情報を積極的に発信します				
環境に関する情報の発信	- ECO まちだを年3回発行しました。新型コロナウイルス感染症の影響で発行回数が減少しました。 「環境白書 2020」を発行し、ホームページでも情報を公開しました。			
	関係課	環境政策課	評価	△
	- 地球温暖化や生物多様性をテーマとしたイベントを開催しました。 - コロナの影響が長期化することを見越して、動画を作成しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
環境に関する出版物を充実させて提供、環境をテーマにした特集コーナーを随時設置	環境に関する出版物の収集に努め、2020 年度受入合計は 148 冊で、2020 年度末の合計は 6,025 冊となりました。鶴川駅前図書館は、里山や身近な自然に関する資料をまとめた書架「みどりのコーナー」を、中央図書館では、児童コーナーに「小さな自然」と題したコーナーを設置して常設しています。			
	関係課	図書館	評価	○
町田市の環境の状況・取り組み等の白書・ホームページ等での公表	2019 年度環境調査事業概要をホームページで公表しました。 - 航空機騒音について、市が測定したデータ及び東京都が 2019 年度に測定したデータを取りまとめ、広報やホームページで公表しました。 - 土壌汚染対策法に関する区域指定等の情報についても随時ホームページに掲載しました。			
	関係課	環境保全課	評価	○
	町田市の 2019 年度の環境の状況や取り組みなどを「町田市環境白書 2020」として公表しました。			
	関係課	環境政策課	評価	○

取り組み項目	2020 年度実施内容			
市のイベントにおける環境配慮の取り組み推進	ハスのんの貸出申請は、2020 年度 1 件あり、環境配慮の呼びかけを行うために使用しました。			
	関係課	環境政策課	評価	△
	イベント時、サポートされるボランティアの方などに向けて、公共交通機関の利用を呼びかけました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
② 市民・事業者の環境保全活動の情報の共有化を図ります				
→重点事業 30（ホームページの充実による情報集約・発信） P29参照				
③ 大学等との連携を進め、環境学習の機会を創出します				
相模原・町田大学地域コンソーシアムや各大学と環境学習に関する取り組みを連携・協働して行うための仕組みづくり	相模原・町田大学地域コンソーシアムと連携、協働した取り組みとして、生涯学習センターで、小学生を対象としたさがまちカレッジ、「イラストをエコバックにうつしてみよう」と題した講座を実施し、環境にやさしい制作の学習へとつなげました。			
	関係課	生涯学習センター	評価	○
ECO-TOP インターンの受け入れ	冬期に2名の大学生を受け入れ、市の施策や事業体験を通じて環境行政について学習してもらいました。			
	関係課	環境政策課	評価	○
④ 環境保全活動の担い手の育成、人材の活用を図ります				
→重点事業 31（ごみ減量サポーターの地域活動支援） P29参照				
環境保全活動団体や環境保全に取り組む市民への支援の検討、実施	市ホームページや町田生きもの共生フォーラムにおいて、団体の活動周知の場を提供しました。			
	関係課	環境・自然共生課	評価	○
	今年度の取り組みはありません。			
	関係課	環境政策課	評価	—

- ※1：二酸化硫黄。工場や火力発電所で石炭や重油を燃焼する際に発生するガスのこと。
- ※2：二酸化窒素。物が燃えると必ず発生するガスである窒素酸化物のひとつ。
- ※3：浮遊粒子状物質。浮遊粉じんのうち、 $10\mu\text{m}$ 以下の粒子状物質。
- ※4：生物化学的酸素要求量。水中の有機物が微生物のはたらきによって分解されるときに消費される酸素の量。
- ※5：浮遊物質。水中に浮遊または懸濁している直径 2mm 以下の粒子状物質の量。数値（ mg/L ）が大きい程、水が濁っていることを示す。
- ※6：溶存酸素量。水中に溶解している酸素の量のこと。数値（ mg/L ）が大きい程、良好な水質であることを示す。
- ※7：水素イオン濃度。物質の酸性、アルカリ性を示す指数。



町田生きもの共生プラン

～生物多様性 はじめの一步～

2020年度進捗報告書

「町田生きもの共生プラン」は、2015年に策定されました。これは、生物多様性基本法（2008年制定）で、「生物多様性地域戦略」の策定が地方自治体の努力義務とされたことを受け、町田市が行うべき施策を取りまとめたものです。また、2012年に策定された第二次町田環境マスタープランの基本目標2「自然環境と歴史的文化的環境の保全」を実現する取り組みとしての位置づけも持っています。

本報告書では、町田生きもの共生プランの4つの基本方針とそれに沿った目標に対する成果と課題・対策をまとめました。また、4つの目標ごとに掲げる施策を横断的かつ効果的に推進するための重点プロジェクトの進捗状況についても報告します。

なお、本プランの施策の目標最終年度は、2021年度です。



町田生きもの共生プランの概要

■ 将来像（理念）

『源流から里山、街が織りなす いのち輝く町田』

■ 計画期間

本計画の対象期間は2015年から2021年までの7年間となります。

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
					報告対象	

■ 基本方針

- 1 意識高揚 『理解する』
- 2 人材育成 『育つ』
- 3 協働・連携 『つながる』
- 4 持続可能な利用 『守る・活用する』

■ 目標（上掲の基本方針ごとに4つの目標を設けています。）

- 1 町田市の生きものや自然に関心を持ち、町田市の魅力の一つととらえ、生きものや自然に親しみと愛着を持つ市民・子ども・事業者を増やします。
- 2 生物多様性の維持・向上に関わる知識を持って保全を行う人材を育てます。
- 3 多様な主体の協働・連携により、町田市の生きものやその生育・生息環境を守ります。
- 4 町田市の生きものやその生育・生息環境を守り、生物多様性の恵みを継続的に利用する仕組みを構築します。

※各目標にひもづいて施策が定められ、取り組みを進めています。（巻末実施状況一覧参照）

■ 重点プロジェクト（上掲4つの目標を横断的に捉えて取り組むプロジェクトです。）

- ① 生物多様性情報拠点（生物多様性センター）機能の構築・充実
- ② 多様な主体の交流の場づくり
- ③ 里山の生物資源利用促進の取り組みの実施
- ④ 市民協働による生きもの調査の実施
- ⑤ ビオトープ作庭イベントの開催

基本方針 1 意識高揚 ～理解する～

＜目標＞ 町田市の生きものや自然に関心をもち、町田市の魅力の一つととらえ、生きものや自然に親しみと愛着を持つ市民・子ども・事業者を増やします。

【施策】

1-1 生物多様性に関する意識啓発

- ① 市民向けの情報発信
- ② 事業者向けの情報発信
- ③ 生物多様性に関する資料・情報の収集・発信の仕組みづくり
- ④ 各種イベントの開催

1-2 学びの場づくり

- ① 子ども向けプログラムの実施
- ② 学校における取り組みの推進
- ③ 地域における取り組みの推進

2020年度の成果

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった企画もあった一方で、感染症対策をとり、里山の資源を使った火おこし体験やザリガニ釣りのイベントを実施することもできました。また、屋内でも楽しめる企画を検討し、動画を作成しました。

・市内全域を対象に、まちピカ町田くん（スマートフォン写真通報アプリ）を使った市民協働の生きもの調査を行い、投稿された生きものの写真を市ホームページで紹介しました。2020年度も投稿写真を掲載した冊子「まちだ生きものアルバム」を作成し、市ホームページで閲覧していただけるようにしました。

・生物多様性情報拠点として、市内公園5ヶ所に、生きもの情報コーナーを設置しました。相原町の間伐材から作った書架に、普及啓発資料を置いて、多くの方の目に留まるよう工夫しました。

※ 施策実施状況一覧 71 ページ～76 ページを参照

2021年度に向けた課題と対策

・新型コロナウイルス感染症の影響に左右されない企画の検討と実施が必要です。

・新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、生きものや自然にふれあいながら学習する機会の提供や、市民の皆さんが町田市の生きものに魅力を感じられるような取り組みを行います。

基本方針 2 人材育成 ～育つ～

＜目標＞ 生物多様性の維持・向上に関わる知識を持って保全を行う人材を育てます。

【施策】

2-1 地域における人材の発掘と育成

- ① 市民活動の担い手の発掘と育成
- ② 農業の担い手育成

2020年度の成果

- ・市民協働による生きもの調査や環境講座を通して、生物多様性の維持・向上に関わる知識を提供しました。
- ・町田生きもの共生フォーラムでは、都会に出てきた野生動物、鶴見川の生きものをテーマとした講演を行いました。
- ・市のホームページで紹介している環境活動団体を訪問し、情報交換をしました。いただいた意見をより多くの方に見ていただけるホームページ作りの参考などにしています。
- ・町田市ホームページ上の環境活動団体の紹介ページをご覧になった方から活動参加への問い合わせをいただきました。

※ 施策実施状況一覧 77 ページを参照

2021年度に向けた課題と対策

- ・市内には様々な自然環境があり、生物多様性保全のために必要な知識の範囲や活動内容も様々です。人材育成とともに活動に踏み出せる場を整えていくことが課題となります。
- ・引き続き、多くの方に環境活動団体の活動に興味を持っていただけるよう、生物多様性保全に関わる活動についての情報の発信に取り組めます。

基本方針 3 協働・連携 ～つながる～

＜目標＞ 多様な主体の協働・連携により、町田市の生きものやその生育・生息環境を守ります。

【施策】

3-1 市民と連携した取り組みの推進

- ① 市民協働の取り組みの推進
- ② 市民活動の支援
- ③ 市民との協働・連携の仕組みづくり

3-2 大学や事業者との連携の仕組みづくり

- ① 大学や事業者と連携した取り組みの推進

2020年度の成果

- ・町田生きもの共生フォーラムを開催し、環境活動団体の方と最近の生きものの動向、鶴見川の生きものについて、情報共有することができました。
- ・市内全域を対象に、まちピカ町田くん（スマートフォン写真通報アプリ）を使った市民協働の生きもの調査を行い、2019年度よりも多くの投稿をいただきました。5組14名が参加して、忠生公園で外来生物であるザリガニの生息調査を行いました。
- ・市民団体と協定を結び、里山再生事業の取り組みを進めています。
- ・下水道用地アダプト活動（自主的な美化等の活動）をしている市民団体により、市内の調整池の清掃と生きもの調査が実施されています。
- ・メールマガジンを利用して、市内の事業者にも生物多様性に関する情報を提供しました。

※ 施策実施状況一覧 78 ページ～79 ページを参照

2021年度に向けた課題と対策

- ・多様な主体との協働・連携を推進するために、市内で活動する環境活動団体についての情報収集と、定期的な情報交換を行うことが必要です。
- ・今後も環境活動団体への訪問を継続するなど、関係の強化を図ります。

基本方針 4 保全と持続可能な利用 ～守る・活用する～

＜目標＞ 町田市の生きものやその生育・生息環境を守り、生物多様性の恵みを継続的に利用する仕組みを構築します。

【施策】

4-1 まとまりのある緑や多様な自然の保全

- ① 里山環境の保全・再生

4-2 水辺環境の保全

- ① 河川・水路の良好な水質の保全
- ② 河川・水路の改修時における生物多様性への配慮

4-3 生きものに配慮したまちづくり事業の推進

- ① 公園・緑地における取り組みの推進
- ② 道路における取り組みの推進
- ③ 開発事業における生きものや自然への配慮の検討

4-4 生きものの生育・生息状況の継続的な把握

- ① 生きものの現状把握

4-5 外来種等による被害の防止

- ① 外来種に関する情報発信
- ② 外来種の防除

4-6 生きものや自然に親しめる場づくり

- ① 生きものや自然に親しめるイベントの実施
- ② 生きものや自然にふれあえる場づくり

4-7 農地の活用

- ① 農業の活性化支援
- ② 生きものや自然にやさしい農業の推進
- ③ 耕作放棄地の活用

4-8 生物資源の利用等の推進

- ① 生物資源の利用の推進

2020年度の成果

- ・外来種であるアライグマハクビシンについて、防除事業を実施し、生態系の保全を行いました。
- ・市有の里山において、アレチウリの駆除を実施し、ほぼ被圧することができました。
- ・緑地や街路樹等の管理をすることで、生きものの生育・生息環境を維持することができています。
- ・小学校でビオトープの出前授業を実施しました。身近な生きものの生息場所について学んでもらうことができました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で年1回となりましたが、町田産農作物の学校給食での活用のため、市内42校の小学校給食で「まち☆ベジメニュー」を実施しました。

※ 施策実施状況一覧 80 ページ～85 ページを参照

2021年度に向けた課題と対策

- ・今後も、さらに市民が生物多様性の恵みを実感できる取り組みを行っていく必要があります。
- ・（仮）第3次環境マスタープランをはじめ、緑の基本計画など、町田市の生物多様性に関連する計画が2022年に改定となります。今後も、より多くの方に生物多様性の重要性に気付いていただけるような取り組み、そして生物多様性保全に取り組みやすい仕組みを盛り込むための検討を行います。

重点プロジェクト①

生物多様性情報拠点（生物多様性センター）機能の構築・充実
町田市の生物多様性の取り組みの検討の場、情報や資料の収集・発信の拠点をつくりま

2020年度の成果

- ・市内全域を対象に、まちピカ町田くん（スマートフォン写真通報アプリ）を使った市民協働の生きもの調査を行い、収集した生きものの写真を定期的に市ホームページに掲載し、町田市内の生きものの魅力を発信しました。2021年3月には、投稿をまとめた2020年版まちだ生きものアルバムを作成し、ホームページで閲覧できるようにしました。
- ・生物多様性普及啓発の情報拠点として、2021年3月に市内5ヶ所の公園（相原中央公園、野津田公園、忠生公園、薬師池公園西園、鶴間公園）に「生きもの情報コーナー」を設置しました。

2021年度に向けた課題と対策

- ・設置したばかりの「生きもの情報コーナー」の周知が必要です。
- ・「生きもの情報コーナー」を生かして、より多くの方に町田市の生きものに関心を持っていただく工夫をしていきます。

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
工程表	内容・方向性の検討	ホームページ上に生物多様性のページ作成	ホームページ上の情報発信 内容・方向性の検証				
				拠点機能の整備			拠点機能の充実
				内容・方向性の検討		生きもの情報コーナーの設置	
					アプリの活用		

《定量評価の視点》

指標：市民アンケート調査結果による生きものに関心のある市民の割合

達成目標：40.0%

年度	基準年（2013）	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
割合	31.3%	27.8%	37.4%	37.5%	33.7%	34.4%	目標 40.0%

重点プロジェクト②

多様な主体の交流の場づくり

多様な主体の交流の場である「生物多様性フォーラム」を定期的 to 開催します。

2020年度の成果

- ・2020年12月に町田生きもの共生フォーラムを開催し、講演「都会に出てきた野生動物」（講師（株）地域環境計画 宮畑貴之氏）と、「鶴見川の自然を見てみよう」（講師 和光大学 齋藤透氏）を実施しました。
- ・25名の枠は満員となりましたが、当日の来場者は、22名でした。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、環境活動団体のパネル、チラシ設置は取りやめました。

2021年度に向けた課題と対策

- ・2021年度も新型コロナウイルス感染症対策が求められます。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、環境活動団体の情報交換の機会を設定するなど交流の場として機能する形で開催します。

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
工程表	検討・プレフォーラムの実施	「生物多様性フォーラム」定期的開催（年1回）					→
		第一回「未来に伝えよう！町田の生物多様性」	第二回「里山を楽しく生かす」	第三回「町田の哺乳類・野鳥」	第四回「秋の七草で広げる身近な自然」	第五回「都会に出てきた野生動物」「鶴見川の生きものの」	第六回「町田の生物多様性と魅力発信について」（案）

《定量評価の視点》

指標：多様な主体による交流の場の提供回数

達成目標：6回（累計）

年度	基準年（2013）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
回数	—	1	1	1	1	1	目標6

重点プロジェクト③

里山の生物資源利用促進の取り組みの推進

手入れがされなくなって植生が単調になった雑木林の手入れを行いやすくするため、伐採木等の利用方法などを考えていきます。また、里山の保全や手入れなどを行っている市民などと協働して行える取り組みを検討し、実施します。

2020年度の成果

- ・北部丘陵では、町田市山林バンク制度のモデル事業を2ヶ所で行っています。（上小山田町田中谷戸周辺、下小山田町東谷戸周辺）。
- ・2021年3月に下小山田町で、里山の生物資源を利用したイベントを実施しました。
- ・2021年3月に相原町の間伐材を利用した書架を作成し、生きもの情報コーナーとして市内5ヶ所の公園に設置しました。

2021年度に向けた課題と対策

- ・市内でもカシノナガキクイムシの流入によるナラ枯れが発生し、雑木林や公園などのコナラ等が被害に遭っています
- ・関係する環境活動団体等と協働し、里山資源の活用や保全を進めていきます。

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
工程表	方向性・取り組み内容の検討	→	取り組みの試験的实施	→	取り組みの本格的実施	・山林バンクモデル2ヶ所実施 ・里山イベント1回実施 ・生きもの情報コーナー5ヶ所設置	→

《評価の視点》

指標：里山の生物資源利用促進の取り組みの実施

達成目標：取り組みの推進

年度	基準年（2013）	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
内容	—	検討	試験的实施	試験的实施	本格実施	本格実施	本格実施

重点プロジェクト④

市民協働による生きもの調査の実施

多くの方に生きものの調査に参加していただき、市内の生きものの状況を知る機会をつくります。

2020年度の成果

- ・市民協働による生きもの調査の一つとして、2019年4月から「まちピカ町田くん」を使った生きもの情報の投稿を受け付けています。2020年度は1473件の投稿をいただき、投稿写真はホームページやイベント時のパネル展示などで紹介しました。2021年3月には、2020年版まちだ生きものアルバムを作成しました。
- ・子ども向け水辺の生きもの調査として、忠生公園で外来生物であるアメリカザリガニの生息調査を行い、5組14名に参加していただきました。

2021年度に向けた課題と対策

- ・2021年度も新型コロナウイルス感染症対策が求められます。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、身近な生きものに目を向けていただき、市内の生きものの生息状況を把握するため、市民協働の生きもの調査を継続していきます。

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
工程表	調査の実施、 調査内容・運営の改善			→	事業の検証、改善		
	セミの鳴き 声調査			→	アプリの活用		→
	かいぼり生きもの調査	セミのぬけ がら調査	ツバメの巣 探し調査	水辺の生きもの調査	外来生物調査	外来生物調査	外来生物調査(案)
	早春の生きもの調査						

《定量評価の視点》

指標：市民協働による生きもの調査への参加者数

達成目標：3500人（累計）

年度	基準年（2013・14）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
年度人数	99・132	517	309	265	1321	1,642	—
累計人数	—	803	1112	1377	2698	4,340	目標 3,500

重点プロジェクト⑤

ビオトープ作庭イベントの開催

まちぐるみでビオトープを作庭し、イベントを開催します。

2020年度の成果

- ・市内小学校2校6クラスで、ビオトープの出前授業を行いました。講師は（公財）日本生態系協会の専門家にお願ひしました。ビオトープに生息している生きものの種名を瞬時に判定し、説明を行ったので、生徒や先生から好評でした。
- ・イベント型のビオトープ関連事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できませんでした。

2021年度に向けた課題と対策

- ・2020年度末時点、イベント参加主体数が27件となっています。
- ・学校ビオトープを利用した出前授業は継続し、イベント型のビオトープ関連事業の実施を検討します。

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
工程表	情報収集、 「ビオトープ作庭イベント」の内容 検討			普及啓発資料発行	普及啓発資料公開、配布		
				イベント開催 (年1回)			

《定量評価の視点》

指標：イベント参加主体数

達成目標：50

年度	基準年（2013）	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
参加主体数		—	—	9	12	6	—
累計	—	—	—	9	21	27	目標 50

(参考資料) 施策実施状況一覧 基本方針1 関連

基本方針目標	施策番号	具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
1	1 ①	忠生がにやら自然館や小野路宿里山交流館等を活用した情報発信	相原中央公園、野津田公園、忠生公園、薬師池公園西園、鶴間公園にラックを設置し、生物多様性の情報発信拠点「生きもの情報コーナー」として、パンフレット類を置きました。薬師池公園西園では配置した生きもの探しマップ 50部が1週間程度でなくなるなど、情報発信の充実が図られました。	環境・自然共生課
1	1 ①	忠生がにやら自然館や小野路宿里山交流館等を活用した情報発信	がにやら通信N O 256 号から 266 号を発行し、約 500 部を館内で配布し、来園者に四季おりおりの情報を発信しました。観察会の予定等の情報も発信できました。	公園緑地課
1	1 ①	忠生がにやら自然館や小野路宿里山交流館等を活用した情報発信	小野路宿里山交流館土蔵において、奈良ばい谷戸展（2021 年 3 月 7 日～3 月 26 日）を実施しました。小野路の自然に興味を持つ人に対して小野路の魅力を伝えることができました。	観光まちづくり課
1	1 ①	町田市の生物多様性に関する情報の普及啓発資料の作成	2020 年 1 月から 12 月の投稿 1,370 件をまとめた「まちだ生きものアルバム」を 3 月に発刊しました。ホームページで閲覧ができるようになりました。また、市内小学校や図書館に閲覧用を配布しました。	環境・自然共生課
1	1 ①	外来種の飼育に関する情報の発信	ホームページで外来生物に関する情報発信を継続しました。屋外でのイベントや生きもの情報コーナーで、「まちだ生きもの探しマップ」を配布しました。「まちだ生きもの探しマップ」には「入れない」「捨てない」「拡げない」外来生物被害予防三原則を掲載しており、多くの方に周知することができました。2020 年 10 月に、アメリカザリガニを除く外来ザリガニが特定外来生物になったので、市ホームページにもチラシを掲載しました。	環境・自然共生課
1	1 ①	外来種の取り扱い・ルールに関する情報の発信	ホームページで外来生物に関する情報発信を継続しました。自治会・町内会の掲示板にアライグマ・ハクビシン防除事業の案内を掲示して事業の周知を図りました。3 年間の事業の成果をまとめた「アライグマ・ハクビシンに気をつけましょう」という冊子を作成し、ホームページで公開しました。	環境・自然共生課

基本方針目標	施策番号		具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
1	1	①	登録文化財制度による市内の生きものの情報発信	2020年度中は文化財保護審議会において自然誌にかかる議題が発生しませんでした。ただし、次年度以降も自然誌の学識経験者を継続的に委嘱して議題に対応できる体制を維持していきます。	生涯学習総務課
1	1	②	事業者向け普及啓発資料の作成	市ホームページに環境省作成の「生物多様性と民間参画」や東京都作成の「生態系に配慮した緑化推進」を掲載して啓発を図りました。	環境・自然共生課
1	1	③	生物多様性に関する資料・情報や環境保全活動等に関する情報を収集・発信する仕組みづくり	重点プロジェクト①参照	環境・自然共生課
1	1	④	市民協働による生きもの調査の実施	重点プロジェクト④参照	環境・自然共生課
1	1	④	町田市農業祭の開催	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催中止となりました。コロナ禍でも祭事が開催できるよう、分散開催や縮小開催の方法を検討していきます。	農業振興課
1	1	④	町田エコフェスタ等環境イベントにおける生物多様性に関するイベントの実施	12月に、町田生きもの共生フォーラムを実施しました。10月の環境教育展においても町田の生きものに関するパネル展示を行いました。各イベントにおいて最新の町田の生きもの情報を提供することができました。	環境・自然共生課
1	2	①	生きものや自然をテーマとした、子どもたちが遊びながら学べる環境学習の実施・推進	9月に子ども向け外来生物学習イベント「ザリガニを釣って水辺の生きものを知ろう」を実施し、5組14名が参加しました。釣りの前に、ザリガニが水辺の生態系に与える影響を講義し、生きものを飼育する場合は最後まで責任を持つことなども伝えました。生きものに触れ合える機会と学びの場を提供できました。	環境・自然共生課

基本方針目標	施策番号	具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
1	2 ①	生きものや自然をテーマとした、子どもたちが遊びながら学ぶことができる環境学習の実施・推進	【子どもセンターただ ON】 近隣高校の天文同好会の協力のもと、天体観望会を行いました。 高校生と小学生とのコミュニケーションの場、親子でのコミュニケーションの場にも繋がっていました。 【子どもセンターまあち】 地域ボランティア講師による星空観察会を行いました。 天体や星についての基礎知識を学び、早見盤を作成するなどして自然に興味を持つ機会やきっかけ作りにつながりました。 【子どもセンターばあん】 地域協力者への委託事業として、プラネタリウムを実施したり、地域協力者の畑で、芋ほり体験を実施しました。 星空の世界についての学習をとおして天文への興味が深まり、小川高校天文地学部 0B の方々との繋がりも構築できました。また、芋ほり体験をとおし、自然に親しみながら、食べ物を育て収穫する喜びを味わうことができました。	児童青少年課
1	2 ①	生きものや自然をテーマとした、子どもたちが遊びながら学ぶことができる環境学習の実施・推進	テント張り体験会（2回）、火おこし&焼き板体験会の事業を計3回実施しました。 参加者に記入していただくアンケートを集計した結果、4段階中最高評価の回答「とても楽しかった」が全体の81.8%を占めました。 アンケートにおける満足度をみると好評でありましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、宿泊や飲食を伴う事業を実施することができず、事業の実施回数が少なくなりました。	大地沢青少年センター

基本方針目標	施策番号	具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
1	2 ①	生きものや自然をテーマとした、子どもたちが遊びながら学ぶことができる環境学習の実施・推進	小山田小学校の児童を対象に、ドングリ植えと植樹を行いました。ドングリ植えと植樹を行うことによって、町田市 of 自然に関心をもち、町田市の魅力の一つととらえ、自然に親しみと愛着を持つ子どもを増やすことができました。	農業振興課
1	2 ①	野外において、子どもたちが生きものや自然にふれあいながら学ぶことができる体験学習の実施・推進	市内2校の小学校でピオトープの出前授業を実施しました。 いずれも2019年度実施した学校でしたが、授業だけでなくクラブ活動でも活用していただき、好評でした。	環境・自然共生課
1	2 ①	野外において、子どもたちが生きものや自然にふれあいながら学ぶことができる体験学習の実施・推進	【子どもセンターつるっこ】 11月に長い距離を歩く「鶴見川チャレンジハイク」を実施いたしました。小学3,4年生は約21km、小学5年生以上は26kmの距離を歩きました。色づいた葉や野鳥など、秋の自然を感じました。 キャンプなどの宿泊を伴う活動及び長距離ウォーキングなどは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。 【子どもセンターばあん】 ジョイハピクラブ（高学年定例グループ）で、町探検（南地域の公園めぐり）を行いました。南地域の公園をほぼ全部まわり、自分の住む町の自然に触れ、地元への愛着を持つことに繋がりました。 みんなで歩こう境川（夕日をめざせ！）を3月に実施を予定していましたが、中止となりました。	児童青少年課

基本方針目標	施策番号		具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
1	2	①	野外において、子どもたちが生きものや自然にふれあいながら学ぶことができる体験学習の実施・推進	テント張り体験会（2回）、火おこし&焼き板体験会の事業を計3回実施しました。 参加者に記入していただくアンケートを集計した結果、4段階中最高評価の回答「とても楽しかった」が全体の81.8%を占めました。 アンケートにおける満足度をみると好評でありましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、宿泊や飲食を伴う事業を実施することができず、事業の実施回数が少なくなりました。	大地沢青少年センター
1	2	①	野外において、子どもたちが生きものや自然にふれあいながら学ぶことができる体験学習の実施・推進	小山田小学校の児童を対象に、ドングリ植えと植樹を行いました。町田市の自然に関心を持ち、町田市の魅力の一つととらえ、自然に親しみと愛着を持つ子どもを増やすことができました。	農業振興課
1	2	②	地域ボランティア等との交流による学校ビオトープの活用	生活科や理科、総合の学習において、メダカや虫などの水辺の生きものの観察・飼育を行いました。 地域の方々の協力を得ながら、ビオトープの整備を行うとともに、児童が学習等で活用しました。 ビオトープの管理をし、生き物と触れ合うことを通して、自然の仕組みを学ぶとともに動植物への愛着の心を育てることができました	指導課
1	2	②	学校における農業体験の推進	地域の農家や保護者、JA等の協力を得ながら、米や野菜を育てて食べる活動を行いました。 4・5月の休業期間の栽培の対応については、教員が請け負うことが多くありましたが、地域の方の協力を得て、栽培活動を行うことで、児童が食文化や健康について理解を深めました。 自分の稲をバケツで育てた学校については、近くからの観察が可能になり、稲を大切に育てようという気持ちが高まりました。	指導課

基本方針目標	施策番号		具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
1	2	②	生きものとふれあうことができる場づくり	計画通りに飼育を行い、生きものと触れ合う場を維持しました。全学年の児童が輪番で、中休みと放課後に小屋の掃除やえさやりを行いました。長期休業中には、PTAや地域の方も飼育活動に関わっています。 生きものの命を守るために、分担して世話をすることによって、生きものに親しむことができました。	指導課
1	2	②	地域の自然を育むための苗木の育成、苗木植え	保全会の方に指導してもらい、共有林の歴史、手入れの仕方について学びました。実際に、下草刈りや木の成長の測定の仕方、干ばつの体験を実施しました。林業体験を通して、地域の自然を守るためには、必要な手立てがあることを知ることができました。	指導課
1	2	②	地域の自然を育むための苗木の育成、苗木植え	小山田小学校の児童を対象に、ドングリ植えと植樹を行いました。 ドングリ植えと植樹を行うことによって、町田市の自然に関心をもち、町田市の魅力の一つととらえ、自然に親しみと愛着を持つ子どもを増やすことができました。	農業振興課
1	2	③	自然観察会の実施	忠生公園で年間8回開催し、77名の参加者がありました。 かしの木山自然公園で年間4回開催し、19名の参加者がありました。 幼稚園生からご年配の方まで幅広い参加者に自然観察を楽しんでいただきました。	公園緑地課
1	2	③	フットパスの普及促進	小野路宿里山交流館のイベントとして、里山歩きを実施しました。 里山歩きのイベントを通じて、小野路の魅力を伝えることができました。	観光まちづくり課

(参考資料) 施策実施状況一覧 基本方針2 関連

基本方針目標	施策番号		具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
2	1	①	町田市の自然環境や生きものに詳しい人材の把握と活用	12月に、町田生きもの共生フォーラムを実施しました。 都会に出てきた野生鳥獣と、鶴見川で見られる水辺の生きものの講演を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策で当日の意見交換はしませんでした。環境活動団体の方にも参加いただき、情報共有をすることができました。	環境・自然共生課
2	1	①	環境講座の実施	前期は8回予定していましたが、コロナ禍ですべて中止。後期は9回の連続講座を実施しました。 講義、実習、見学などを取り交えて、土日開催としました。 幅広い年齢層の参加があり、連続講座の受講を通して、環境保全に対する意識の向上に繋がりました。実習や講義などの組み合わせにより、エコ活動ひいては地球にやさしい社会についての理解を深められました。	生涯学習センター
2	1	①	ネイチャーリーダー講座の実施	秋に、環境・自然共生課のホームページで紹介している環境活動団体の取材を行いました。取材の結果、団体の方の考えや、掲載情報に関する意見等を踏まえ、より多くの方に見ていただけるよう市ホームページの見直しに着手しましたが、ネイチャーリーダー講座の実施には至りませんでした。	環境・自然共生課
2	1	①	市民協働による生きもの調査の実施【再掲】	重点プロジェクト④参照	環境・自然共生課
2	1	②	援農者、新たな担い手の育成	第10期9名(2年目)、第11期10名(1年目)の研修を行いました。 第10期9名が研修を修了しました。今後は市内の農業の担い手として活躍することが期待されます。	農業振興課
2	1	②	意欲のある農業者の支援	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催中止となりました。今後とも社会情勢を見極め、実施の可否を判断していきます。	農業振興課

(参考資料) 施策実施状況一覧 基本方針3 関連

基本方針目標	施策番号	具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
3	1 ①	市民協働による生物多様性保全に関する取り組みの実施	8/15～9/15 まで夏の生きもの探しキャンペーンを実施。期間中 275 件の投稿をいただきました。通年の投稿へのきっかけづくりにもなり、2020 年度合計 1473 件の投稿に繋がりました。	環境・自然共生課
3	1 ①	市民協働による生きもの調査の実施【再掲】	重点プロジェクト④参照	環境・自然共生課
3	1 ②	生物多様性に関する情報の提供	市内全域を対象に、まちピカ町田くん（スマートフォン写真通報アプリ）を使った市民協働の生きもの調査を行い、投稿された生きものの写真を、町田生きもの共生フォーラムで展示、また市ホームページでも紹介しました。 2019 年度に続き、「まちだ生きものアルバム」を 3 月に発刊し、2019 年 4 月から 2020 年 12 月までの投稿情報を市ホームページで閲覧できるようになりました。	環境・自然共生課
3	1 ②	市民による河川の維持管理の支援	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、境川クリーンアップ作戦が中止となりましたが、当該活動が実施される際には引き続き広報を行い、町田市の生き物の生息環境保全に貢献していきます。	下水道経営総務課
3	1 ②	市民による水路の維持管理の支援	アダプト事業を行っていただいている団体の支援（清掃後のごみの回収等）を行いました。	下水道管理課
3	1 ③	市民協働での里山管理の仕組みの検討	先行して実施しているモデル事業及び地域住民や企業に対して実施した山林の活用に関する調査の結果を参考に、山林の活用に関する運用方針を作成し、山林バンクの制度化を構築しました。多様な主体の協働・連携により、町田市の生きものやその生育・生息環境を守る仕組みができました。	農業振興課
3	1 ③	市民や市民団体が活動内容の発表や情報交換等の交流を行う場づくり	重点プロジェクト②参照	環境・自然共生課

基本方針目標	施策番号	具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
3	2 ①	大学や事業者との連携による啓発事業や調査等の実施	秋に実施した環境活動団体の取材時に、まちピカ町田くん（スマートフォン写真通報アプリ）を使った市民協働の生きもの調査の案内をしました。 町田エコ宣言事業者登録をしている事業者へのメールマガジンに、生物多様性の情報も載せました。 環境活動団体の方からも市民協働の生きもの調査の投稿をいただいたり、事業者の方へ生物多様性に係る情報をお知らせすることができました。	環境・自然共生課

(参考資料) 施策実施状況一覧 基本方針4 関連

基本方針目標	施策番号		具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
4	1	①	里山環境再生事業の実施	鶴見川源流域及び奈良ばい谷戸で保全・活用を行う団体を公募し協定を締結し、カントリーヘッジの設置や植樹会などの環境再生事業を実施しました。町田市の生きものやその生育・生息環境を守り、生物多様性の恵みを継続的に利用する仕組みを構築することができました。	農業振興課
4	1	①	町田市ふるさとの森の保全	広袴神明特別緑地保全地区の用地取得（約 990 m ² ）を行いました。市有地化することで、緑地保全を確実に進めています。	公園緑地課
4	1	①	里山環境再生事業の新規実施地域の検討	先行して実施しているモデル事業及び地域住民や企業に対して実施した山林の活用に関する調査の結果を参考に、山林の活用に関する運用方針を作成し、山林バンクの制度化を構築しました。多様な主体の協働・連携により、町田市の生きものやその生育・生息環境を守る仕組みができました。	農業振興課
4	1	①	里山環境再生事業の新規実施地域の検討	現地調査や市民要望に応じて草刈や剪定等を行い市内の緑地を保全しました。動植物にとっても生息・生育しやすい状況に保つことが出来ました。	公園緑地課
4	2	①	下水処理における適正な水処理	2つの下水処理場において、適正な水処理運転により良好な処理水質を得ました。放流先河川の良好な水質の保全に寄与しました。	水再生センター
4	2	①	市民による河川の清掃活動の推進【再掲】	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、境川クリーンアップ作戦が中止となりましたが、当該活動が実施される際には引き続き広報を行い、町田市の生き物の生息環境保全に貢献していきます。	下水道経営総務課

基本方針 目標	施策番号		具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
4	2	①	市民による水路の維持管理の支援	アダプト事業を行っていただいている団体の支援（清掃後のごみの回収等）を行いました。	下水道管理課
4	2	②	雨水幹線整備時における水辺環境への配慮	2020年度は水辺環境に配慮できる雨水幹線整備事業がありませんでした。	下水道整備課
4	3	①	街区公園整備事業	2020年度は別の事業を優先実施しました。	公園緑地課
4	3	①	公園・緑地の整備・管理における生物多様性保全の推進	現地調査や市民要望に応じて草刈や剪定等を行い市内の緑地を保全しました。動植物にとっても生息・生育しやすい状況に保つことが出来ました。	公園緑地課
4	3	②	緑の連続性に配慮した街路樹の維持・管理	枯損などにより欠損した植樹樹等に、計1,044株の低木を植栽し、連続した緑の確保を行いました。緑の繋がりを確保し、都市部における生きもののささやかな生息域の確保と、道路上にうるおいをもたらす緑化につなげることができました。	道路維持課
4	3	③	開発事業実施の際の生物多様性への影響に対する配慮の検討	市ホームページに環境省作成の「生物多様性と民間参画」や東京都作成の「生態系に配慮した緑化推進」を掲載して事業者の啓発を図りました。	環境・自然共生課、関係各課
4	4	①	市内の生きものの生育・生息状況の把握	まちピカ町田くんを使った市民協働の生きもの調査では、1473件の市内の生きものを撮影した投稿をいただきました。2020年1月から12月までの投稿をまとめた「まちだ生きものアルバム」を3月に刊行し、市ホームページで閲覧可能としています。	環境・自然共生課
4	4	①	市民協働による生きもの調査の実施【再掲】	重点プロジェクト④参照	環境・自然共生課

基本方針目標	施策番号		具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
4	4	①	生物多様性の現状を把握するための環境指標種*の検討	アブリの生きもの投稿対象種は専門家と相談し、投稿しやすく、かつ、指標となるような種を選定して投稿を受け付けています。2020年度は1473件の投稿をいただきました。	環境・自然共生課
4	5	①	外来種の飼育に関する情報の発信【再掲】	ホームページで外来生物に関する情報発信を継続しました。屋外でのイベントで、「生きもの探しマップ」を配布しました。 2020年10月に、アメリカザリガニを除く外来ザリガニが特定外来生物になったので、ホームページでもチラシを掲載しました。	環境・自然共生課
4	5	①	外来種の取り扱い・ルールに関する情報の発信【再掲】	ホームページで外来生物に関する情報発信を継続しました。9月に自治会・町内会の掲示板にアライグマ・ハクビシン防除事業の案内を掲示してもらいました。3月に3年間の事業の成果をまとめた「アライグマ・ハクビシンに気をつけましょう」という冊子を作成しました。	環境・自然共生課
4	5	②	生態系に被害を及ぼす特定外来生物アレチウリの駆除	NPO法人と協働でアレチウリの駆除を行い、町田市の生きものやその生育・生息環境を守り、生物多様性の恵みを継続的に利用する仕組みを構築することができました。	農業振興課
4	5	②	農業生産に被害を及ぼす特定外来生物アライグマの駆除	町田市農業協同組合へ小動物捕獲の委託を行い、特定外来生物（アライグマ・ハクビシン）の駆除を推進しました。	農業振興課
4	5	②	外来種への対応の検討	ホームページで外来生物に関する情報発信を継続しました。9月に自治会・町内会の掲示板にアライグマ・ハクビシン防除事業の案内を掲示してもらいました。3月に3年間の事業の成果をまとめた「アライグマ・ハクビシンに気をつけましょう」という冊子を作成しました。	環境・自然共生課

基本方針目標	施策番号	具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
4	6	① 農業体験の実施	奈良ばい谷戸において、米づくり体験を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。	農業振興課
4	6	① 農業体験の実施	市民公募を行い、7組20名の応募があり、田植え、草取り、稲刈り、収穫祭の米づくり体験を実施しました。米づくりを体験することによって、身近な自然を楽しみ、親しんでもらうことができました。	農業振興課
4	6	① 生きものや自然に親しめるイベント等の実施	鶴見川源流保水の森において、散策・ヤブカンゾウ苗植え体験を実施することによって、町田市の生きものやその生育・生息環境を守り、生物多様性の恵みを継続的に利用する仕組みを構築することができました。 鶴見川源流保水の森において、タケノコ掘とサツマイモ掘を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。	農業振興課
4	6	① 生きものや自然に親しめるイベント等の実施	忠生公園自然観察センター・かしの木山自然公園定例自然観察会については、広報まちだに掲載、また両公園の掲示板にも掲載しPRをしました。毎回観察会ボランティアの協力もあり多くの参加者に楽しんでいただきました。	公園緑地課
4	6	② まちだフットパスの利用促進【再掲】	小野路宿里山交流館のイベントとして、里山歩きを実施しました。 里山歩きのイベントを通じて、小野路の魅力を伝えることができました。	観光まちづくり課
4	6	② ビオトープ作庭イベントの開催	重点プロジェクト⑤参照	環境・自然共生課
4	6	② 生産緑地の保全・活用	2020年1月に21件34筆13,888㎡の追加指定の応募があり、うち3月に21件31筆12,703㎡を生産緑地として推薦をしました。2021年1月にも追加指定の募集を行い、10件17筆5709㎡の追加指定の応募があり、うち3月に10件17筆5709㎡を生産緑地として推薦をしました。2020年3月に推薦した農地のうち、20件30筆12,256.16㎡が生産緑地として認められ、2021年1月1日に指定されました。	農業振興課

基本方針目標	施策番号		具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
4	7	①	町田産農作物の学校給食での活用	毎年、年間2回まち☆ベジ給食を実施していましたが、新型コロナウイルス新型コロナウイルス感染症の影響のため、実施が1回になりました。 全校で取り組んでいることをPRすることで、児童や保護者にまち☆ベジについて、関心をもってもらうことができました。	保健給食課
4	7	①	町田産農作物の学校給食での活用	小学校給食への地場産農産物供給に対する補助を行いました。新規にまち☆ベジメニューの日を1回実施しました。供給率の大幅な増加はありませんでしたが、市内全小学校で地場産野菜を供給することができました。	農業振興課
4	7	②	減農薬・減化学肥料農法に取り組む農業経営者の支援	エコ農産物認証取得者及びエコファーマーに対して補助率を上げて堆肥流通促進事業補助金を交付しました。農業者に対して、窓口にてPRを開始しました。事業のPRをした結果、エコ農産物認証申請が5件ありました。	農業振興課
4	7	②	田んぼの保全推進	事業の必要性について、事業検討を行い、今後策定する（仮称）里山環境活用保全計画の中で検討することになりました。	農業振興課
4	7	③	遊休農地のあっせん制度	新規農地あっせんが2件 4435.8㎡成立し、遊休農地の解消が図れています。農地バンク登録候補地の情報が不足しているため、農地パトロールの強化に加え、担い手にも遊休農地の情報提供を求めています。	農業振興課
4	8	①	生物資源利用促進の取り組みの実施	重点プロジェクト③参照	農業振興課、公園緑地課、環境・自然共生課

基本方針目標	施策番号	具体的な取り組み	2020年度実施状況	担当課名
4	8 ①	木の枝や落ち葉の堆肥としての利用・推進、堆肥流通促進制度の推進	町田市花壇コンクール参加団体への剪定枝たい肥の無料配布を行い、剪定枝たい肥のPRをしました。 (PR実施期間) ①2020年6月20日～7月15日 ②2020年11月22日～12月6日 剪定枝たい肥を花壇コンクールで活用いただきました。また、日頃から市民の方に使って頂けるよう、剪定枝たい肥に関するパネルの展示を行いました。新型コロナウイルス感染症防止のため、多数の人が触る恐れのある「袋入り剪定枝たい肥」の展示は行いませんでした。	資源循環課
4	8 ①	木の枝や落ち葉の堆肥としての利用・推進、堆肥流通促進制度の推進	エコ農産物認証取得者及びエコファーマーに対して補助率を上げて堆肥流通促進事業補助金を交付しました。農業者に対して、窓口にてPRを開始しました。 家畜ふん尿の資源循環を促進することができました。	農業振興課